

岡山県沿岸部における半翅目 (Hemiptera) ～瀬戸内市邑久町虫明宇藤の事例～

野崎達也*・野崎陽子*

I. はじめに

岡山県内における半翅目 (Hemiptera) については、最近では山地ら (山地・福田, 2001, 2003) あるいは野崎ら (野崎・野崎, 2005) などにより、比較的まとまった報告がなされている。しかしながら、特定の場所における本格的な通年調査は、昆虫類全般を取り扱った総合学術調査等に数例見られるのみであり、特に半翅目について詳述された報告は少ない。

そこで筆者らは、通年調査をすべく調査地の選定を行い、海に面した谷地形でありながら人的利用が全く見られないという稀有な自然景観を有する瀬戸内市邑久町虫明宇藤一帯をその地に定めた。今回は、その調査結果について報告する。

なお、本報では半翅目 (Hemiptera) を構成する3亜目のうち、異翅亜目 (Heteroptera) 及び頸吻亜目 (Auchenorrhyncha) の2亜目を対象とし、腹吻亜目 (Stenorrhyncha) については対象外としたことを予めお断りしておく。

II. 調査地の概要

調査地である瀬戸内市邑久町虫明宇藤は、岡山県東部沿岸域に位置し、大平山 (標高261.7m) の東約1.0～1.5kmに広がる山腹から海岸部にかけての1帯である (図1)。年間降水量は1,200mm以下と少なく、国内でも特に雨量の少ない地域にあたるという気候的特徴を有する。

海岸部から北北西方向に広がる谷底部には、幅200m、長さ500mに及ぶ広葉樹林帯が広がり、調査地

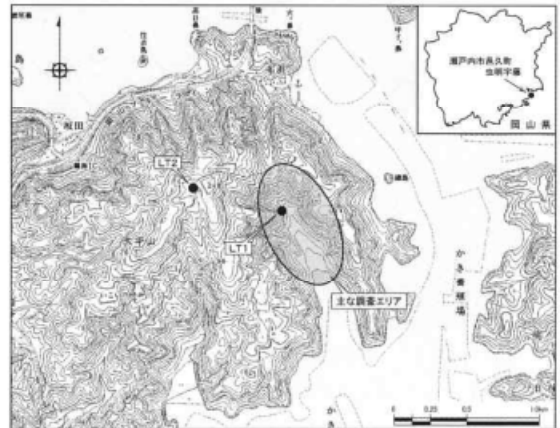


図1 調査地

を特徴付ける特異な谷底樹林地となっている (図2)。ただし、この谷底樹林地内を歩くと、古い石垣や栗畑といった人為的痕跡が散見され、過去における人為の影響の下に成立した二次林であることを示している。現在の植生はコナラやエノキ、アカメガシワなどを主体とした落葉広葉樹林に、ヤブツバキ、ネズミモチなど少数の常緑広葉樹が混生する。

海岸部は、ヨシ、シオクグ、ヒトモトススキ等の生育する塩性湿地が発達し、ここには岡山県版レッドデータブック (岡山県, 2003) 掲載種であるフクド (危急種) のほか、ハマツナ、ハマサジ、コアマモ (以上、準危急種) 等が生育する (図3)。

海岸部と広葉樹林帯の境界部分にはアカマツが点在するほか、一部にはメダケが密生する。

一方、山腹斜面は山火事 (平成8年) による被害を受けており、その跡地はヤマモモ、ウバメガシなどの木本類が広範囲に植樹された人工造林地となってい

* 〒700-0971 岡山市野田5-1-30-505



図2 山腹斜面より谷底樹林地を望む



図3 山腹斜面より海岸部を望む

る。加えて、一部には微量ながら滲出水が認められ、その周囲にはコモウセンゴケなどの湿生植物の生育が見られる。

以上が、調査地における主な調査エリアの概要であり、昼間の採集は全てこの範囲で行った。ライトトラップによる採集もこのエリア内に地点を設け (LT1) 実施したが、「海からの南風が強く実施困難な場合」に限り、補足地点としてLT2を活用した。LT2は、主な調査エリアから概ね500mほど離れた既存林道沿いであり、周辺には広く広葉樹林が存在するほか、眼前に小規模なため池跡草地 (比較的乾燥化が進行している) がある。

なお、調査地のメッシュコード (環境庁, 1997) は、LT1を含む主な調査エリアが [5234-0139], LT2が [5234-0148] である。

Ⅲ. 調査の概要

調査は、春季・夏季・秋季の3季に実施した。

調査エリアが広く、夏季以降は一日で全域を網羅することが出来なかったため、エリア北側 (樹林地中心)

とエリア南側 (海岸部中心) に分け、それぞれに調査日を設けた。

ライトトラップはカーテン法により実施し、20W白色蛍光灯1本、20Wブラックライト1本、100W水銀灯2灯を光源として使用した。

なお、2005年9月23日～25日にかけて、岡山大学で日本昆虫学会第65回大会が開催され、多くの半翅類研究者が来岡された。その際に、埼玉大学林正美博士を始め、多くの研究者諸氏を当地に案内するという格好の機会を得た。このような機会は滅多にあるものではなく、ここに特記しておく。

<春季調査>

2005年5月31日 (日中; エリア全域)

2005年5月31日 (夜間; LT2)

<夏季調査>

2005年7月7日 (日中; エリア北側)

2005年7月15日 (夜間; LT2)

2005年7月24日 (日中; エリア南側)

2005年7月24日 (夜間; LT1)

<秋季調査>

2005年9月18日 (日中; エリア北側)

2005年9月18日 (夜間; LT2)

2005年9月24日 (昆虫学会時に案内)

2005年10月9日 (日中; エリア南側)

2005年10月9日 (夜間; LT1)

Ⅳ. 採集記録

ライトトラップによる採集に限り、地点ごとに「LT1」及び「LT2」の略号をデータ末尾に付した。

採集者は、アシナガサシガメ *Schidium marcidum* のみ大木克行氏、残る全ては筆者らによるものであり、簡潔のためデータからは採集者名を割愛した。また、採集地データ (地名及びメッシュコード) についても、調査年月日及び地点により判断できることから、採集者名と同様に割愛した。

本州初記録種及び岡山県初記録種については、その旨を含め若干のコメントを付すと共に、標本写真を掲載した。標本写真の番号は、採集記録に示す種番号に対応している。

標本については、原則として筆者らが保管しているが、一部の研究上有用なものについては、埼玉大学教育学部生物学研究室にて保管頂いている。

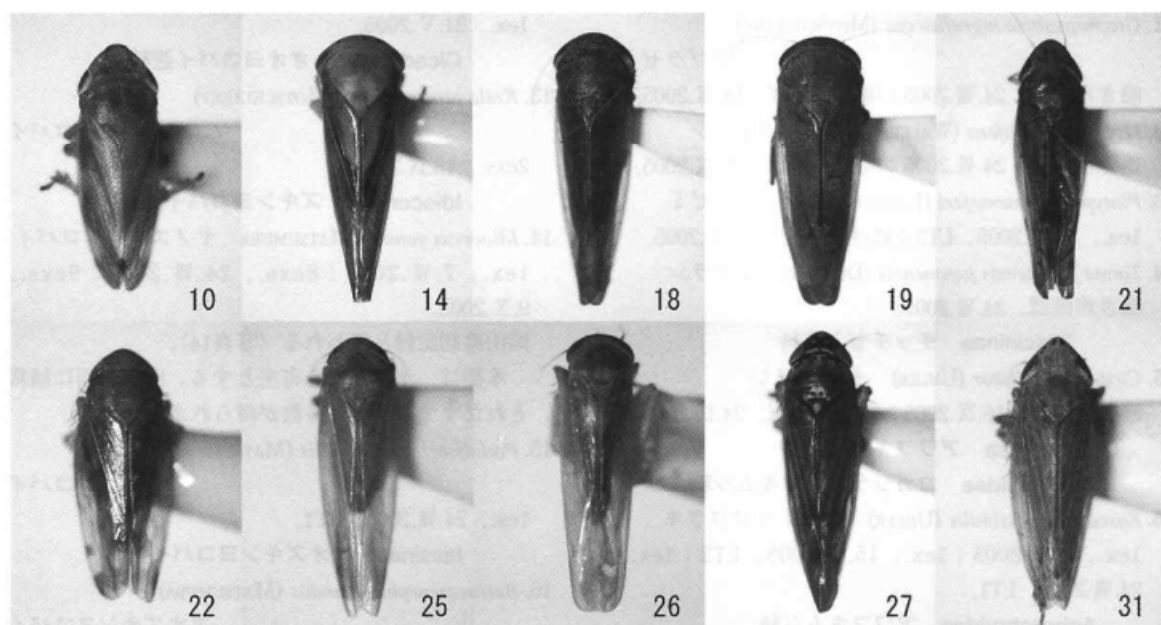
Auchenorrhyncha 頸吻亜目

Cicadoidea セミ上科

Cicadidae セミ科

Cicadidae セミ亜科

1. *Graptopsaltria nigrofuscata* (MOTSCHULSKY) アブラゼミ
鳴き声確認, 24.VII.2005; 鳴き声確認, 18.IX.2005.
2. *Meimuna opalifera* (WALKER) ツクツクボウシ
鳴き声確認, 24.VII.2005; 鳴き声確認, 18.IX.2005.
3. *Platypleura kaempferi* (FABRICIUS) ニイニイゼミ
1ex., 15.VII.2005, LT2; 鳴き声確認, 24.VII.2005.
4. *Tanna japonensis japonensis* (DISTANT) ヒグラシ
鳴き声確認, 24.VII.2005.
Tibicininae チッチゼミ亜科
5. *Cicadetta radiator* (UHLER) チッチゼミ
鳴き声確認, 18.IX.2005; 鳴き声確認, 24.IX.2005.
Cercopoidea アワフキムシ上科
Cercopoidae コガシラアワフキムシ科
6. *Eoscartopis assimilis* (UHLER) コガシラアワフキ
1ex., 7.VII.2005; 1ex., 15.VII.2005, LT2; 1ex.,
24.VII.2005, LT1.
Aphrophoridae アワフキムシ科
Aphrophorinae アワフキムシ亜科
7. *Aphrophora intermedia* UHLER シロオビアワフキ
1ex., 18.IX.2005, LT2.
8. *Peuceptyelus indentatus* (UHLER) コミヤマアワフキ
1ex., 15.VII.2005, LT2; 1ex., 24.VII.2005.
本種は, 林正美博士に同定して頂いた。
Ptyelinae ホソアワフキムシ亜科
9. *Lepyronia okadae* (MATSUMURA) オカダアワフキ
1ex., 18.IX.2005.
10. *Neophilaenus takaii* (MATSUMURA) タカイホソアワフキ
22exs., 31.V.2005; 5exs., 7.VII.2005; 1ex.,
18.IX.2005; 6exs., 9.X.2005; 8exs., 9.X.2005,
LT1.
岡山県初記録と思われる (写真10)。
本種は, 林正美博士に同定して頂いた。
本種は, 標高1000m以上の山地帯上部~亜高山帯
に分布するとされ (東川, 1998), 今回確認された
生息環境は既知の知見とは明らかに異なる。主に草
地のスウィーピングにより得られたが, 寄主植物を
特定するには至っていない。
Membracoidae ツノゼミ上科
Cicadellidae ヨコバイ科
Ledrinae ミミズク亜科
11. *Ledra auditura* WALKER ミミズク
1ex., 15.VII.2005, LT2; 1ex., 24.VII.2005, LT1;
1ex., 18.IX.2005, LT2.
12. *Ledropsis discolor* (UHLER) コミミズク
1ex., 31.V.2005.
Cicadellinae オオヨコバイ亜科
13. *Kolla atramentaria* (MOTSCHULSKY) マエジロオオヨコバイ
2exs., 18.IX.2005.
Idiocerinae ズキンヨコバイ亜科
14. *Idiocerus yanonis* MATSUMURA ヤノズキンヨコバイ
1ex., 7.VII.2005; 8exs., 24.VII.2005; 9exs.,
9.X.2005.
岡山県初記録と思われる (写真14)。
本種は, ヤマモモを寄主とする。山腹斜面に植栽
されたヤマモモより多数が得られた。
15. *Podulmorinus vitticollis* (MATSUMURA) ズキンヨコバイ
1ex., 24.VII.2005, LT1.
Iassininae アオズキンヨコバイ亜科
16. *Batracomorphus mundus* (MATSUMURA) アオズキンヨコバイ
2exs., 15.VII.2005, LT2; 2exs., 24.VII.2005, LT1.
Penthimiinae クロヒラタヨコバイ亜科
17. *Penthimia nitida* LETHIERRY クロヒラタヨコバイ
2exs., 31.V.2005.
Selenocephalinae ブチミャクヨコバイ亜科
18. *Bhatia satsumensis* (MATSUMURA) 和名なし
1ex., 15.VII.2005, LT2; 2exs., 18.IX.2005, LT2;
1ex., 9.X.2005, LT1.
岡山県初記録と思われる (写真18)。
本種は, 林正美博士に同定して頂いた。
19. *Drabescus formosanus* MATSUMURA タイワンブチミャクヨコバイ
1ex., 15.VII.2005, LT2.
岡山県初記録と思われる (写真19)。
本種は, 林正美博士に同定して頂いた。比較的稀
種と思われる。
20. *Drabescus nigrifemoratus* (MATSUMURA) ブチミャクヨコバイ
1ex., 7.VII.2005; 1ex., 24.VII.2005; 2exs.,
18.IX.2005, LT2.
21. *Faviniga camphorae* (MATSUMURA) クスサジヨコバイ
1ex., 15.VII.2005, LT2.
岡山県初記録と思われる (写真21)。
本種は, 林正美博士に同定して頂いた。比較的稀
種と思われる。
Xestocephalinae ホシヨコバイ亜科
22. *Xestocephalus japonicus* ISHIHARA ホシヨコバイ



2exs., 15.VII.2005, LT2; 2exs., 24.VII.2005, LT1;
2exs., 18.IX.2005; 4exs., 18.IX.2005, LT2; 6exs.,
9.X.2005, LT1.

岡山県初記録と思われる(写真22)。

Deltocephalinae ヨコバイ亜科

23. *Hecalus prasinus* (MATSUMURA) サジヨコバイ
3exs., 24.VII.2005; 1ex., 24.VII.2005, LT1; 2exs.,
18.IX.2005; 1ex., 9.X.2005, LT1.

24. *Hishimonus sellatus* (UHLER) ヒシモンヨコバイ
3exs., 15.VII.2005, LT2; 1ex., 18.IX.2005, LT2;
2exs., 9.X.2005, LT1.

25. *Balclutha rubrinervis* (MATSUMURA)
アカカスリヨコバイ
4exs., 7.VII.2005; 2exs., 15.VII.2005, LT2; 1ex.,
24.VII.2005; 2exs., 24.VII.2005, LT1; 2exs.,
9.X.2005; 1ex., 9.X.2005, LT1.

岡山県初記録と思われる(写真25)。

本種は、林正美博士に同定して頂いた。小笠原諸島を除く日本全土に普通に見られ、開放的な草地を好むという(山田, 1999)。

26. *Balclutha saltuella* (KIRSCHBAUM)
ヒメカスリヨコバイ
2exs., 9.X.2005; 6exs., 9.X.2005, LT1.

岡山県初記録と思われる(写真26)。

本種は、林正美博士に同定して頂いた。関東以西の本州から琉球にかけて分布し、開放的な草地を好むという(山田, 1999)。

27. *Macrosteles cyane* (BOHEMAN) ヒシヨコバイ

1ex., 9.X.2005, LT1.

岡山県初記録と思われる(写真27)。

ため池等に見られるヒシ、ヒツジグサ等の浮葉植物を寄主とする(大木, 2002)。しかし、調査地域にはそのような環境はなく、地域外から飛来した偶産個体であろう。

28. *Macrosteles striifrons* ANUFRIEV

ヒメフタテンヨコバイ

2exs., 31.V.2005; 1ex., 24.VII.2005, LT1.

29. *Yamatotettix flavovittatus* MATSUMURA

ヤマトヨコバイ

1ex., 7.VII.2005; 1ex., 18.IX.2005.

30. *Recilia dorsalis* (MOTSCHULSKY) イナズマヨコバイ

1ex., 24.VII.2005, LT1.

31. *Recilia oryzae* (MATSUMURA) イネマダラヨコバイ

3exs., 15.VII.2005, LT2.

岡山県初記録と思われる(写真31)。

本種は、林正美博士に同定して頂いた。

32. *Phlogotettix cyclops* (MULSANT et REY)

ヒトツメヨコバイ

2exs., 15.VII.2005, LT2; 3exs., 18.IX.2005, LT2;

1ex., 9.X.2005; 1ex., 9.X.2005, LT1.

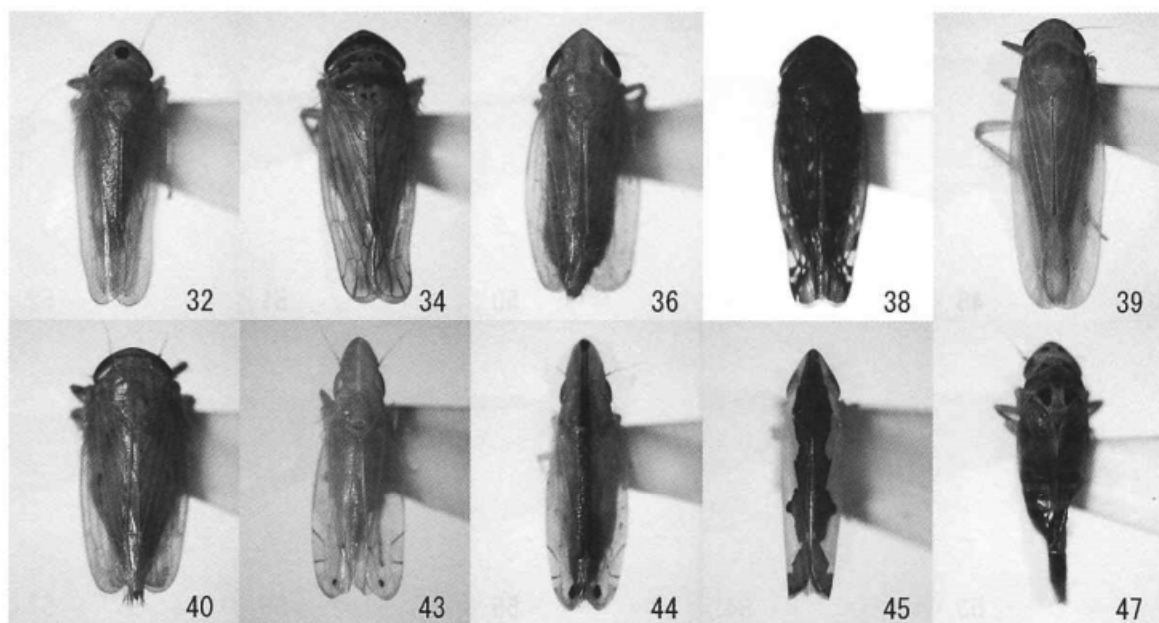
岡山県初記録と思われる(写真32)。

33. *Doratulina grandis* (MATSUMURA)

オオトガリヨコバイ

7exs., 7.VII.2005; 1ex., 24.VII.2005, LT1; 5exs.,

18.IX.2005; 2exs., 9.X.2005; 2exs., 9.X.2005, LT1.



34. *Exitianus fusconervosus* (MOTSCHULSKY)

クロミyakuiチモンジヨコバイ

1ex., 24.VII.2005, LT1; 1ex., 18.IX.2005; 3exs., 18.IX.2005, LT2; 1ex., 9.X.2005, LT1.

岡山県初記録と思われる (写真34)。

35. *Nephotettix cincticeps* (UHLER) ツマグロヨコバイ

1ex., 15.VII.2005, LT2; 2exs., 24.VII.2005, LT1.

36. *Futasujinus candidus* (MATSUMURA)

フタスジトガリヨコバイ

1ex., 31.V.2005; 1ex., 7.VII.2005; 2exs., 24.VII.2005; 1ex., 24.VII.2005, LT1; 1ex., 18.IX.2005; 4exs., 9.X.2005, LT1.

岡山県初記録と思われる (写真36)。

37. *Laburru impictifrons* (BOHEMAN) フトヨコバイ

1ex., 7.VII.2005; 2exs., 18.IX.2005.

38. *Mimotettix kawamurae* MATSUMURA

カワムラヨコバイ

10exs., 15.VII.2005, LT2; 9exs., 24.VII.2005, LT1; 1ex., 18.IX.2005, LT2; 18exs., 9.X.2005, LT1.

岡山県初記録と思われる (写真38)。

本種は、林正美博士に同定して頂いた。

林正美博士からの私信によると、本種はいわゆる“珍品”の部類に入り、寄主植物を始めとする生態の多くが未解明であるという。採集個体数は多いが、いずれもライトトラップによるものであり、特筆すべき生態的知見は得られていないが、今後注目すべき1種である。

39. *Paralimnus tamagawanus* MATSUMURA

タマガワヨシヨコバイ

1ex., 31.V.2005, LT2; 2exs., 24.VII.2005, LT1.

岡山県初記録と思われる (写真39)。

40. *Paramesodes albinervosus* (MATSUMURA)

シロミyakuiチモンジヨコバイ

2exs., 7.VII.2005; 3exs., 18.IX.2005.

岡山県初記録と思われる (写真40)。

41. *Scaphoideus albovittatus* MATSUMURA

シロセスジヨコバイ

1ex., 15.VII.2005, LT2; 2exs., 24.VII.2005, LT1; 2exs., 18.IX.2005, LT2; 1ex., 9.X.2005; 6exs., 9.X.2005, LT1.

42. *Scaphoideus festivus* MATSUMURA

シラホシスカシヨコバイ

2exs., 15.VII.2005, LT2; 2exs., 24.VII.2005, LT1; 3exs., 18.IX.2005, LT2.

Nirvaniinae ホソサジヨコバイ亜科

43. *Nirvana pallida* MELICHAR ホソサジヨコバイ

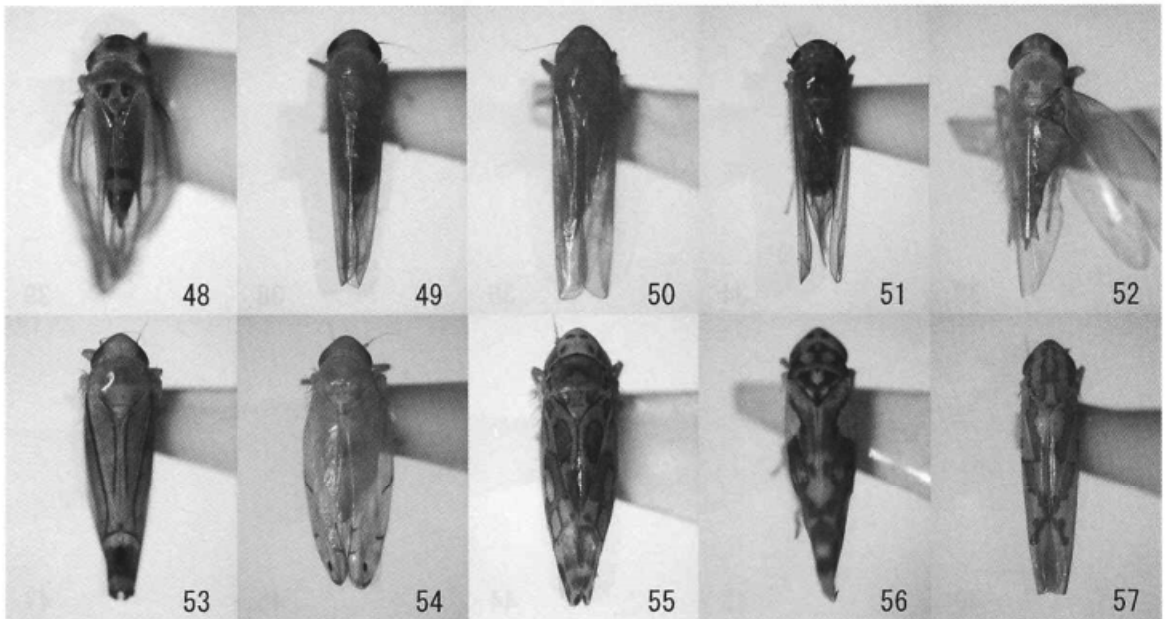
1ex., 15.VII.2005, LT2; 1ex., 18.IX.2005; 2exs., 18.IX.2005, LT2.

岡山県初記録と思われる (写真43)。

44. *Sophonia orientalis* (MATSUMURA)

クロスジホソサジヨコバイ

2exs., 31.V.2005; 2exs., 7.VII.2005; 2exs., 15.VII.2005, LT2; 2exs., 24.VII.2005; 4exs., 24.VII.2005, LT1; 3exs., 18.IX.2005; 3exs., 18.IX.2005, LT2; 3exs., 9.X.2005; 2exs.,



9. X. 2005, LT1.

岡山県初記録と思われる (写真44)。

Typhlocybinae ヒメヨコバイ亜科

45. *Motschulskyia serrata* (MATSUMURA)

セスジヒメヨコバイ

1ex., 24. VII. 2005, LT1; 1ex., 9. X. 2005, LT1.

岡山県初記録と思われる (写真45)。

46. *Naratettix zonatus* (MATSUMURA) オビヒメヨコバイ

1ex., 15. VII. 2005, LT2; 4exs., 18. IX. 2005; 1ex., 18. IX. 2005, LT2; 3exs., 9. X. 2005.

47. *Arboridia suzukii* (MATSUMURA) スズキヒメヨコバイ

2exs., 18. IX. 2005.

岡山県初記録と思われる (写真47)。

本種は、尾崎光彦氏に同定して頂いた。

48. *Empoasca limbata* (MATSUMURA)

ヨツモンヒメヨコバイ

2exs., 24. VII. 2005; 1ex., 9. X. 2005, LT1.

岡山県初記録と思われる (写真48)。

49. *Apheliona ferruginea* (MATSUMURA)

カンキツヒメヨコバイ

1ex., 31. V. 2005, LT2; 1ex., 15. VII. 2005, LT2; 2exs., 24. VII. 2005, LT1; 3exs., 18. IX. 2005, LT2.

岡山県初記録と思われる (写真49)。

50. *Dayus takagii* DWORAKOWSKA ベニヒメヨコバイ

4exs., 7. VII. 2005; 1ex., 9. X. 2005.

岡山県初記録と思われる (写真50)。

本種は、尾崎光彦氏に同定して頂いた。

51. *Ishiharella polyphemus* (MATSUMURA)

ヒトツメヒメヨコバイ

1ex., 7. VII. 2005; 3exs., 18. IX. 2005.

岡山県初記録と思われる (写真51)。

52. *Jacobiasca boninensis* (MATSUMURA) 和名なし

1ex., 15. VII. 2005, LT2.

岡山県初記録と思われる (写真52)。

本種は、尾崎光彦氏に同定して頂いた。

53. *Aguriahana quercus* (MATSUMURA)

カシヒメヨコバイ

2exs., 9. X. 2005, LT1.

岡山県初記録と思われる (写真53)。

前翅端の顕著な切れ込みと、前翅の斑紋が特徴的な種。カシ類のほか、クリも加害するという (安松ほか, 1965)。

54. *Eurhadina pulchella* (FALLEN) シロヒメヨコバイ

3exs., 31. V. 2005, LT2; 3exs., 15. VII. 2005, LT2; 4exs., 24. VII. 2005, LT1; 3exs., 9. X. 2005; 3exs., 9. X. 2005, LT1.

岡山県初記録と思われる (写真54)。

55. *Platyettix pulchra* (MATSUMURA)

マダラヒメヨコバイ

1ex., 31. V. 2005, LT2; 2exs., 18. IX. 2005, LT2.

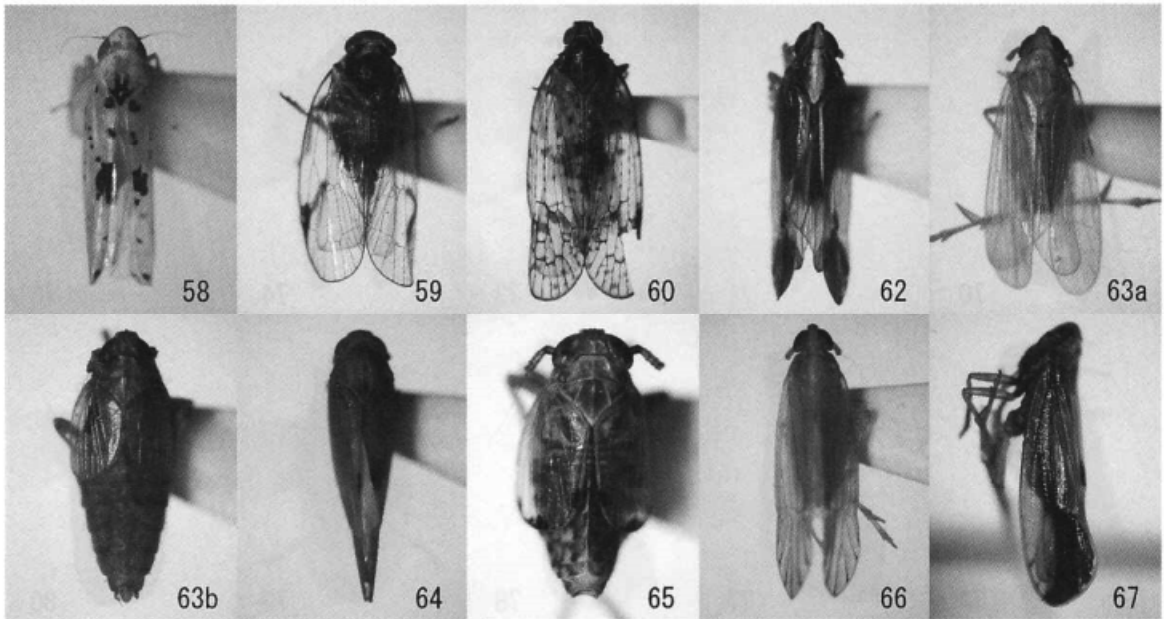
岡山県初記録と思われる (写真55)。

カシ類を寄主とする美麗種 (安松ほか, 1965) で、個体数は多くない。

56. *Ziczacella hirayamella* (MATSUMURA)

イナズマヒメヨコバイ

2exs., 15. VII. 2005, LT2.



岡山県初記録と思われる (写真56)。

タカサゴナガウンカ

57. *Zygina yamashiroensis* MATSUMURA

9exs., 24.VII.2005; 3ex., 9.X.2005.

ヤマシロヒメヨコバイ

岡山県初記録と思われる (写真62)。

1ex., 18.IX.2005; 1ex., 9.X.2005.

岡山県初記録と思われる (写真57)。

本種は、林正美博士に同定して頂いた。調査地では、海岸部の塩性湿地に生育するヒトモトススキより得られた。

鮮やかな血紅色の斑紋が特徴的な種。桑を寄主とする (安松ほか, 1965)。

Criomorphinae ウンカ亜科

58. *Limassolla multipunctata* (MATSUMURA)

63. *Chloriona tateyamana* (MATSUMURA)

ホシヒメヨコバイ

タテヤマヨシウンカ

1ex., 18.IX.2005; 1ex., 18.IX.2005, LT2; 1ex., 9.X.2005, LT1.

1ex., 31.V.2005; 11exs., 24.VII.2005.

岡山県初記録と思われる (写真58)。

岡山県初記録と思われる (写真63a, 63b)。

Fulgoroidea ハゴロモ上科

ヨシに多産する。雌雄で形態を異にし、雄は長翅型、雌は短翅型となる。

Cixiidae ヒシウンカ科

59. *Betacixius obliquus* MATSUMURA

ハスオビヒシウンカ

2exs., 31.V.2005; 1ex., 7.VII.2005.

岡山県初記録と思われる (写真59)。

64. *Epeurysa nawaii* (MATSUMURA) タケウンカ

1ex., 15.VII.2005, LT2; 4exs., 24.VII.2005, LT1; 1ex., 9.X.2005, LT1.

岡山県初記録と思われる (写真64)。

岡山県初記録と思われる (写真60)。

タケ類を寄主とする (北隆館)。

本種は、林正美博士に同定して頂いた。

61. *Reptalus quadricinctus* MATSUMURA

ヨスジヒシウンカ

1ex., 31.V.2005; 2exs., 7.VII.2005.

Delphacidae ウンカ科

65. *Garaga nagaragawana* (MATSUMURA)

ナガラガワウンカ

2exs., 18.IX.2005.

岡山県初記録と思われる (写真65)。

本種は、林正美博士に同定して頂いた。

Stenocraninae ナガウンカ亜科

62. *Stenocranus takasagonis* MATSUMURA

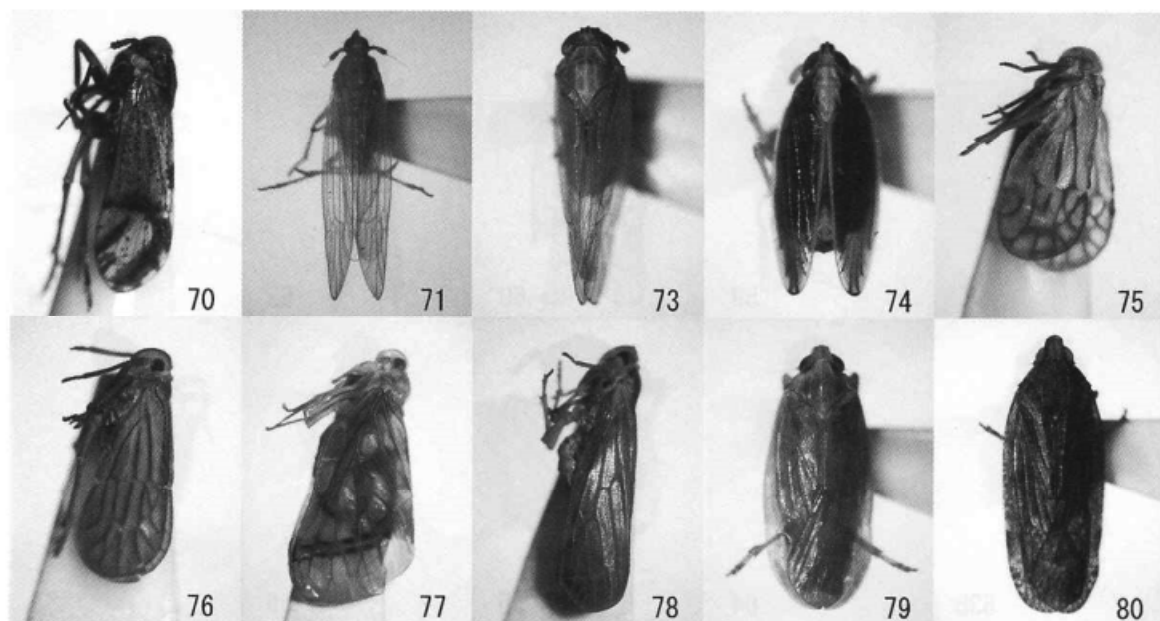
66. *Hosunka hakonensis* (MATSUMURA)

ハコネホソウンカ

5exs., 7.VII.2005; 4exs., 18.IX.2005.

岡山県初記録と思われる (写真66)。

67. *Kakuna kuwayamai* MATSUMURA クワヤマウンカ



- 2exs., 15.VII.2005.
岡山県初記録と思われる(写真67)。
本種は、林正美博士に同定して頂いた。
68. *Laodelphax striatellus* (FALLEN) ヒメトビウンカ
3exs., 18.IX.2005, LT2; 1ex., 9.X.2005; 4exs.,
9.X.2005, LT1.
69. *Nilaparvata lugens* (STAL) トビイロウンカ
15exs., 9.X.2005, LT1.
70. *Phyllodinus nigropunctatus* (MOTSCHULSKY)
ゴマフウンカ
1ex., 18.IX.2005, LT2.
岡山県初記録と思われる(写真70)。
71. *Saccharosydne procerus* (MATSUMURA)
ホソミドリウンカ
1ex., 31.V.2005.
岡山県初記録と思われる(写真71)。
マコモを寄主とする(安松ほか, 1965)。
72. *Sogatella furcifera* (HORVATH) セジロウンカ
2exs., 7.VII.2005; 3exs., 15.VII.2005, LT2; 1ex.,
9.X.2005, LT1.
73. *Toya propinqua* (FIEBER) シロウズウンカ
1ex., 31.V.2005.
岡山県初記録と思われる(写真73)。
74. *Yanunka miscanthi* ISHIHARA カヤウンカ
14exs., 7.VII.2005; 1ex., 24.VII.2005; 2exs.,
18.IX.2005,
岡山県初記録と思われる(写真74)。
濃赤色に白い縁取りが印象的な種。乾燥地のス

キを寄主とし、今調査では開放的な林道沿いのス
キより得られた。

Meenoplidae シマウンカ科

75. *Eponisiella guttulinervis* MATSUMURA
シマウンカモドキ
1ex., 31.V.2005.
岡山県初記録と思われる(写真75)。
シマウンカに似るが、前翅の暗色線状斑紋が異
なり、容易に区別される(大木, 2002)。
76. *Nisia nervosa* (MOTSCHULSKY) シマウンカ
1ex., 24.VII.2005, LT1.
岡山県初記録と思われる(写真76)。

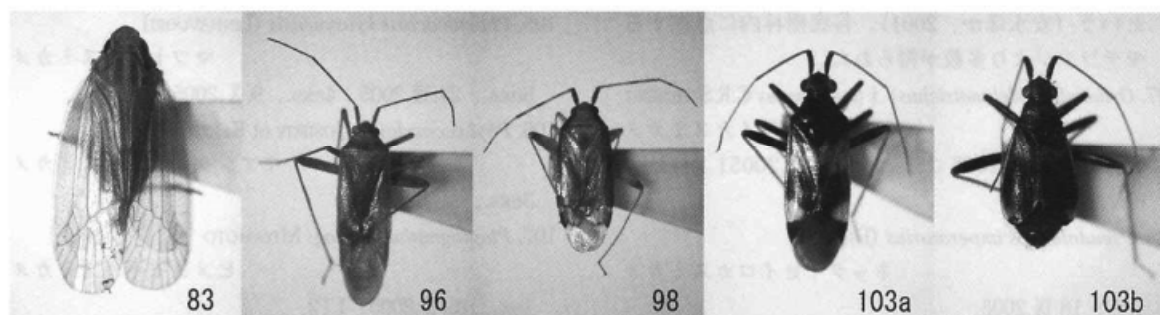
Derbidae ハネナガウンカ科

Derbinae ハネビロウンカ亜科

77. *Rhotana satsumana* MATSUMURA
キスジハネビロウンカ
1ex., 24.VII.2005; 2exs., 18.IX.2005 LT2,
岡山県初記録と思われる(写真77)。
78. *Vekunta malloti* MATSUMURA
アカメガシワハネビロウンカ
1ex., 24.VII.2005, LT1; 1ex., 18.IX.2005; 1ex.,
18.IX.2005, LT2; 1ex., 9.X.2005.
岡山県初記録と思われる(写真78)。

Achilidae コガシラウンカ科

79. *Akotropis fumata* MATSUMURA
ウスグロコガシラウンカ
8exs., 18.IX.2005,
岡山県初記録と思われる(写真79)。



林道脇に密生したコシダより得られた。

80. *Epirama shikokuana* ISHIIHARA

シコクコガシラウンカ

3exs., 24.VII.2005, LT1.

岡山県初記録と思われる(写真80)。

Dictyopharidae テングスケバ科

81. *Dictyophara patruelis* (STAL) テングスケバ

1ex., 9.X.2005.

82. *Orthopagus lunulifer* UHLER ツマグロスケバ

2exs., 18.IX.2005.

Tropiduchidae グンバイウンカ科

83. *Mesepora onukii* (MATSUMURA)

オヌキグンバイウンカ

1ex., 24.VII.2005; 3exs., 18.IX.2005, LT2.

岡山県初記録と思われる(写真83)。

84. *Ossoides lineatus* BIERMAN ヒラタグンバイウンカ

2exs., 18.IX.2005.

Flatidae アオバハゴロモ科

85. *Geisha distinctissima* (WALKER) アオバハゴロモ

1ex., 7.VII.2005; 1ex., 24.VII.2005; 1ex., 18.IX.2005; 1ex., 18.IX.2005, LT2; 1ex., 9.X.2005.

86. *Mimophantia maritima* MATSUMURA

トビイロハゴロモ

1ex., 24.VII.2005; 4exs., 18.IX.2005.

Ricaniidae ハゴロモ科

87. *Orosanga japonicus* (MELICHAR) ベッコウハゴロモ

1ex., 24.VII.2005.

88. *Pochazia albomaculata* (UHLER) アミガサハゴロモ

1ex., 24.VII.2005.

Heteroptera 異翅亜目

Nepomorpha タイコウチ下目

Nepoidea タイコウチ上科

Notonectidae マツモムシ科

89. *Anisops ogasawarensis* MATSUMURA コマツモムシ

1ex., 9.X.2005, LT1.

Gerromorpha アメンボ下目

Gerroidea アメンボ上科

Gerridae アメンボ科

90. *Gerris gracilicornis* (HORVATH) コセアカアメンボ
2exs., 31.V.2005.

91. *Gerris latiabdominis* MIYAMOTO ヒメアメンボ
1ex., 7.VII.2005.

Imicomorpha トコジラミ下目

Tingoidea グンバイムシ上科

Tingidae グンバイムシ科

92. *Cantacader japonicus* DRAKE オオウチワグンバイ
9exs., 15.VII.2005, LT2; 1ex., 24.VII.2005, LT1.

93. *Corythucha marmorata* (UHLER)

アワダチソウグンバイ

23exs., 31.V.2005; 3exs., 7.VII.2005; 1ex., 24.VII.2005; 6exs., 18.IX.2005; 1ex., 9.X.2005.

アワダチソウを寄主とする外来種である(友国, 2002)。岡山県では2004年に初めて定着が確認されている(山地, 2004)。2005年には県内各地で極めて普通に見られる状況となっており、急激な分布拡大傾向にあるとみられる。

94. *Xynotingis hoytona* DRAKE クチナガグンバイ

1ex., 7.VII.2005.

Mirioidea カスミカメムシ上科

Miridae カスミカメムシ科

95. *Coridromius bufo* MIYAMOTO et YASUNAGA

ガマカスミカメ

1ex., 7.VII.2005; 1ex., 15.VII.2005, LT2; 7exs., 18.IX.2005.

96. *Orthotylus (Kiortotylus) gotohi* YASUNAGA

モチツツジカスミカメ

13exs., 7.VII.2005; 2exs., 24.VII.2005.

岡山県初記録と思われる(写真96)。

モチツツジに依存する日本固有種。モチツツジの茎や葉に密生する粘着性のある軟毛上をすばやく走り回り、この粘毛に絡み捕られた昆虫類を捕食する

- という (安永ほか, 2001)。谷底樹林内に点在するモチツツジより多数が得られた。
97. *Orthotylus (Melanotrichus) f lavosparsus* C.R.SAHLBERG
テンサイカスミカメ
7exs., 31.V.2005; 3exs., 24.VII.2005; 4exs.,
9.X.2005.
98. *Pseudoloxops imperatorius* (DISTANT)
ネッタイヒイロカスミカメ
1ex., 18.IX.2005.
淡黄色地に淡赤色斑紋を備える美麗種で、国内では四国南岸及び沖縄本島に分布するとされる (安永ほか, 2001) ほか、小笠原諸島父島からも記録がある (友国・石川, 2002)。本記録は、本州初記録と思われる (写真98)。
調査地では、広葉樹林帯北端部のヤマザクラより得られた。
99. *Pilophorus lucidus* LINNAUORI
ツヤヒョウタンカスミカメ
1ex., 7.VII.2005; 5exs., 24.VII.2005.
100. *Pilophorus miyamotoi* LINNAUORI
マツヒョウタンカスミカメ
1ex., 24.VII.2005.
101. *Pilophorus okamotoi* MIYAMOTO et LEE
ヨモギヒョウタンカスミカメ
7exs., 24.VII.2005; 2exs., 24.VII.2005, LT1.
102. *Pilophorus typicus* (DISTANT)
クロヒョウタンカスミカメ
8exs., 18.IX.2005.
103. *Hallodapus kyushuensis* MIYAMOTO
キュウシュウハシリカスミカメ
10exs., 7.VII.2005; 1ex., 18.IX.2005; 1ex.,
24.IX.2005.
四国、九州、五島列島 (福江島)、沖縄本島に分布するとされ (安永ほか, 2001)、本州初記録と思われる (写真103a, 103b)。
雌雄で形態が異なり、雄は長翅型 (写真103a)、雌は短翅型 (写真103b) となる。本種を含むハシリカスミカメ類は、いずれも地上徘徊性で、主に草地の根際で捕食生活を送っているとされる。調査地では、開放的な林道沿いのススキの根際より多数が得られた。
104. *Campylomma chinensis* SCHUH
コミドリチビトピカスミカメ
8exs., 7.VII.2005; 1ex., 24.VII.2005; 7exs.,
18.IX.2005; 1ex., 18.IX.2005, LT2; 6exs.,
9.X.2005.
105. *Phoenicocoris kyusyuensis* (LINNAUORI)
マツトピカスミカメ
8exs., 24.VII.2005; 4exs., 9.X.2005.
106. *Phylus coryloides* JOSIFOV et KERZHNER
キアシクロホソカスミカメ
3exs., 31.V.2005.
107. *Plagiognathus yomogi* MIYAMOTO
ヒメヨモギカスミカメ
1ex., 15.VII.2005, LT2.
108. *Psallus (Calopsallus) roseguttatus* YASUNAGA et VINOKUROV
ベニモントピカスミカメ
1ex., 31.V.2005.
109. *Alloeotomus simplus* (UHLER)
マツノヒゲボソカスミカメ
2exs., 18.IX.2005, LT2.
110. *Teratophylum hikosanum* MIYAMOTO
ヒコサンテングカスミカメ
3exs., 18.IX.2005, LT2; 5exs., 9.X.2005, LT1.
111. *Adelphocoris demissus* HORVATH
ウスモンカスミカメ
2exs., 18.IX.2005.
112. *Apolygus reseofemoralis* (YASUNAGA)
モモアカハギカスミカメ
1ex., 24.VII.2005, LT1.
113. *Apolygus subhilaris* YASUNAGA
ニセフタモンアカカスミカメ
1ex., 31.V.2005.
114. *Arbolygus glaber* KERZHNER ツヤクロカスミカメ
2exs., 31.V.2005; 1ex., 7.VII.2005.
115. *Bertsia lankana* (KIRBY) ヨツボシカスミカメ
1ex., 24.VII.2005, LT1; 1ex., 18.IX.2005; 3exs.,
18.IX.2005, LT2.
116. *Eurystylus coelestialium* (KIRKALDY)
メンガタカスミカメ
1ex., 18.IX.2005.
117. *Eurystylus luteus* HSIAO ハギメンガタカスミカメ
1ex., 9.X.2005, LT1.
118. *Proboscidocoris varicornis* (JAKOVLEV)
オオクロセダカカスミカメ
1ex., 18.IX.2005, LT2.
119. *Stenotus rubrovittatus* (MATSUMURA)
アカスジカスミカメ
1ex., 7.VII.2005.
120. *Taylorilygus pallidulus* (BLANCHARD)
ウスモンミドリカスミカメ
3exs., 18.IX.2005; 4exs., 9.X.2005; 2exs.,

9. X.2005, LT1. コバネナガカメムシ
Cimicoidea トコジラミ上科
Nabidae マキバサシガメ科
 121. *Nabis stenoserus* HSIAO ハネナガマキバサシガメ ヒメオオメナガカメムシ
 1ex., 24. VII.2005; 1ex., 9. X.2005, LT1.
Anthocoridae ハナカメムシ科
 122. *Anthocoris chibi* HIURA チビクロハナカメムシ
 10exs., 24. VII.2005.
 123. *Orius sauteri* (POPPIUS) ナミヒメハナカメムシ
 1ex., 24. VII.2005.
 124. *Physopleurella armata* POPPIUS ヒゲナガカメムシ
 ユミアシハナカメムシ
 1ex., 24. VII.2005, LT1; 1ex., 18. IX.2005, LT2.
 125. *Amphiareus constrictus* (STAL) ヒメツヤナガカメムシ
 クビレヤサハナカメムシ
 1ex., 7. VII.2005.
 126. *Amphiareus obscuriceps* (POPPIUS) ヨツボシヒョウタンナガカメムシ
 ヤサハナカメムシ
 5exs., 7. VII.2005; 2exs., 15. VII.2005, LT2; 5exs.,
 18. IX.2005; 3exs., 18. IX.2005, LT2.
 127. *Cardiastethus pygmaeus pygmaeus* POPPIUS マツヒラタナガカメムシ
 ケシハナカメムシ
 1ex., 18. IX.2005.
Reduvoidea サシガメ上科
Reduviidae サシガメ科
 128. *Endochus stalianus* HORVATH オオチャイロナガカメムシ
 ヒゲナガサシガメ
 1ex., 24. VII.2005; 1ex., 18. IX.2005; 1ex.,
 9. X.2005.
 129. *Sphedanolestes impressicollis* (STAL) シマサシガメ
 1ex., 31. V.2005.
 130. *Oncocephalus breviscutum* REUTER オオモンシロナガカメムシ
 クロトビイロサシガメ
 1ex., 18. IX.2005, LT2.
 131. *Schidium marcidum* (UHLER) アシナガサシガメ
 1ex., 24. IX.2005.
 132. *Peirates cinciventris* HORVATH クロサシガメ
 1ex., 9. X.2005, LT1.
 133. *Peirates turpis* WALKER クロモンサシガメ
 1ex., 7. VII.2005.
Pentatomorpha カメムシ下目
Lygaeoidea ナガカメムシ上科
Berytidae イトカメムシ科
 134. *Yemma exilis* HORVATH イトカメムシ
 1ex., 18. IX.2005.
Lygaeidae ナガカメムシ科
 135. *Dimorphopterus pallipes* (DISTANT) 1ex., 31. V.2005.
 136. *Geocoris proteus* DISTANT 1ex., 24. VII.2005.
 137. *Piocoris varius* (UHLER) オオメナガカメムシ
 1ex., 18. IX.2005, LT2.
 138. *Pachygrontha antennata* (UHLER) 2exs., 31. V.2005.
 139. *Diniella pallipes* (SCOTT) 1exs., 24. VII.2005.
 140. *Paraucosmetus pallicornis* (DALLAS) ヨツボシヒョウタンナガカメムシ
 1ex., 24. VII.2005, LT1.
 141. *Gastrodes grossipes japonicus* (STAL) 1ex., 24. VII.2005.
 マツヒラタナガカメムシ
 142. *Lethaeus assamensis* (DISTANT) 2exs., 15. VII.2005, LT2; 1ex., 24. VII.2005, LT1.
 オオチャイロナガカメムシ
 143. *Metochus abbreviatus* (SCOTT) 1ex., 7. VII.2005; 2exs., 24. VII.2005, LT1.
 オオモンシロナガカメムシ
 144. *Neolethaeus dallasi* (SCOTT) 1ex., 7. VII.2005; 2exs., 15. VII.2005, LT2; 1ex.,
 チャイロナガカメムシ
 24. VII.2005, LT1; 1ex., 18. IX.2005; 1ex.,
 18. IX.2005, LT2; 1ex., 9. X.2005; 1ex., 9. X.2005,
 LT1.
 145. *Pachybrachius luridus* (HAHN) 1ex., 24. VII.2005, LT1.
 ヒラタヒョウタンナガカメムシ
 146. *Pamerarma rustica* (SCOTT) 1ex., 7. VII.2005; 3exs., 15. VII.2005, LT2; 1ex.,
 サビヒョウタンナガカメムシ
 24. VII.2005; 3exs., 24. VII.2005, LT1; 2exs.,
 18. IX.2005, LT2.
 147. *Panaorus albomaculatus* (SCOTT) 1ex., 15. VII.2005, LT2.
 モンシロナガカメムシ
 148. *Paraparomius lateralis* (SCOTT) 1ex., 7. VII.2005; 4exs., 15. VII.2005, LT2; 1ex.,
 キベリヒョウタンナガカメムシ
 24. VII.2005, LT1; 2exs., 18. IX.2005, LT2.
 149. *Paromius pallidus* (MONTROUZIER)

- アカアシホソナガカメムシ
2exs., 9.X.2005.
150. *Stigmatonotum geniculatum* (MOTSCHULSKY)
イチゴナガカメムシ
2exs., 15.VII.2005, LT2; 1ex., 9.X.2005.
151. *Togo hemipterus* (SCOTT)
コバネヒョウタンナガカメムシ
1ex., 15.VII.2005, LT2.
- Pyrrhocoridae** ホシカメムシ上科
Pyrrhocoridae ホシカメムシ科
152. *Pyrrhocoris sibiricus* KUSCHAKEWITSCH
フタモンホシカメムシ
1ex., 31.V.2005.
153. *Pyrrhocoris sinuaticollis* REUTER
クロホシカメムシ
1ex., 15.VII.2005, LT2.
- Largidae** オオホシカメムシ科
154. *Physopelta cincticollis* STAL ヒメホシカメムシ
2exs., 15.VII.2005, LT2; 2exs., 24.VII.2005, LT1;
1ex., 18.IX.2005, LT2; 1ex., 9.X.2005, LT1.
155. *Physopelta gutta* (BURMEISTER) オオホシカメムシ
1ex., 31.V.2005; 1ex., 31.V.2005, LT2; 1ex.,
7.VII.2005; 1ex., 24.VII.2005, LT1; 1ex.,
18.IX.2005, LT2; 1ex., 9.X.2005, LT1.
- Coreoidea** ヘリカメムシ上科
Coreidae ヘリカメムシ科
156. *Cletus punctiger* (DALLAS) ホソハリカメムシ
1ex., 31.V.2005; 1ex., 24.VII.2005, LT1.
157. *Cletus rusticus* STAL ハリカメムシ
1ex., 18.IX.2005; 1ex., 18.IX.2005, LT2.
158. *Homoeocerus dilatatus* HORVATH
ハラビロヘリカメムシ
1ex., 18.IX.2005; 1ex., 9.X.2005.
159. *Hygia (Hygia) opaca* (UHLER)
ツマキヘリカメムシ
1ex., 31.V.2005; 1ex., 7.VII.2005; 1ex., 18.IX.2005.
- Alydidae** クモヘリカメムシ科
160. *Leptocoris chinensis* (DALLAS)
クモヘリカメムシ
1ex., 31.V.2005; 1ex., 7.VII.2005.
161. *Riptortus clavatus* (THUNBERG)
ホソヘリカメムシ
1ex., 15.VII.2005, LT2; 1ex., 24.VII.2005, LT1.
- Rhopalidae** ヒメヘリカメムシ科
162. *Rhopalus maculatus* (FIEBER)
アカヒメヘリカメムシ
1ex., 24.VII.2005; 1ex., 9.X.2005.
163. *Stictopleurus punctatonervosus* (GOEZE)
ブチヒゲヘリカメムシ
1ex., 31.V.2005; 1ex., 7.VII.2005; 1ex., 15.VII.2005,
LT2; 1ex., 18.IX.2005.
- Pentatomoidea** カメムシ上科
Urostylidae クヌギカメムシ科
164. *Urostylis annulicornis* SCOTT ヘラクヌギカメムシ
2exs., 31.V.2005.
- Cydnidae** ツチカメムシ科
165. *Geotomus pygmaeus* (DALLAS) ヒメツチカメムシ
5exs., 24.VII.2005, LT1; 3exs., 18.IX.2005, LT2.
166. *Macroscytus japonensis* (SCOTT) ツチカメムシ
1ex., 18.IX.2005, LT2.
167. *Adomerus biguttulus* (MOTSCHULSKY)
フタボシツチカメムシ
1ex., 18.IX.2005, LT2.
- Pentatomidae** カメムシ科
168. *Aelia fieberi* SCOTT ウズラカメムシ
1ex., 7.VII.2005.
169. *Eurydema rugosa* MOTSCHULSKY ナガメ
1ex., 31.V.2005.
170. *Eysarcoris guttiger* (THUNBERG)
マルシラホシカメムシ
2exs., 7.VII.2005.
171. *Eysarcoris ventralis* (WESTWOOD)
シラホシカメムシ
1ex., 7.VII.2005; 1ex., 18.IX.2005.
172. *Glaucias subpunctatus* WALKER ツヤアオカメムシ
1ex., 18.IX.2005, LT2; 1ex., 9.X.2005; 1ex.,
9.X.2005, LT1.
173. *Halyomorpha picus* (FABRICIUS) クサギカメムシ
1ex., 31.V.2005; 1ex., 7.VII.2005; 1ex.,
15.VII.2005, LT2; 1ex., 24.VII.2005, LT1; 1ex.,
18.IX.2005, LT2.
174. *Laprius gastricus* (THUNBERG) フタテンカメムシ
2exs., 15.VII.2005, LT2; 3exs., 24.VII.2005, LT1.
岡山県版レッドデータブックでは、情報不足に指
定されている(岡山県, 2003)。海岸のススキなど
イネ科草地在生環境とされるが(安永ほか, 1993)、
岡山県下では、やや内陸部に入った吉備高原地域か
らも記録されている(岡山県, 2003; 野崎・野崎,
2005)。
175. *Plautia stali* SCOTT チャバネアオカメムシ
1ex., 31.V.2005, LT2; 1ex., 15.VII.2005, LT2;
2exs., 24.VII.2005, LT1; 1ex., 18.IX.2005, LT2.

176. *Plautia splendens* DISTANT

ヒメチャバネアオカメムシ

1ex., 24.VII.2005.

Phyllocephalidae エビイロカメムシ科

177. *Gonopsis affinis* (UHLER) エビイロカメムシ

1ex., 31.V.2005; 1ex., 18.IX.2005.

Acanthosomatidae ツノカメムシ科

178. *Dichobothrium nubilum* (DALLAS)

アオモンツノカメムシ

2exs., 18.IX.2005, LT2.

V. まとめ

調査の結果、本州初記録となる2種、岡山県初記録となる54種を含む32科178種の半翅目を記録できた。確認種を環境別に見ていくと、それぞれに特徴的な種が確認されている。

海岸部（塩性湿地）では、フクドやハマサジにテンサイカスミカメが、ヨシにタテヤマヨシウヅカが、ヒトモトススキにタカサゴナガウヅカが見られ、種数は少ないものの、他には見られない特有の種が生息している。その他、塩性湿地の背後に点在するアカマツから、マツヒョウタンカスミカメ、マツトビカスミカメ、マツヒラタナガカメムシ、チビクロハナカメムシといったマツ類に依存する複数種が得られていることも特徴的である。なお、期待したウミアメンボ類は発見できなかった。

谷底樹林地では、高木相を中心に、ヘラクヌギカメムシやツヤクロカスミカメ等のナラ類に寄生する種が多数確認されたことが特徴的である。これは、通常常緑樹林が発達する沿岸部には見られない種構成であり、調査地に見られる特異な植生を反映した結果と考えられる。その他、低木相ではモチツツジに寄生するモチツツジカスミカメが、林床では地上徘徊性のオオモンシロナガカメムシなどが特徴的である。

山腹斜面では、植栽されたヤマモモからヤノズキンヨコバイが得られている以外、木本類に特徴的な種は得られていない。元来、植生の発達が貧弱なことに加え、山火事による影響を少なからず受けているものと思われた。他方、林道沿いを中心とする草地環境からは、キュウシュウハシリカスミカメ（ススキ）、カヤウヅカ（ススキ）、タカイホソアワフキ（イネ科草本）など特徴的な種が多く得られている。

他に、偶産と考えられる種もいくつか確認されており、例えばヒシヨコバイ、コマツモムシといった淡水環境に依存する種は、調査地外からの飛来による偶産種であると考えられる。

なお、今回、特に頸吻亜目で多くの初記録種が認められたが、県内に普通に見られるものも多く含まれている。本亜目については、県内のファウナ解明度は極めて低く、今後調査が進めば更なる未記録種が続出するであろう。

VI. 謝辞

本報告をまとめるにあたり、森定伸氏には現地の植生について種々ご教示頂いた。また、大木克行氏には貴重な標本の提供を、埼玉大学の林正美博士並びに横浜国立大学の尾崎光彦氏には頸吻亜目の同定並びに種々ご教示頂いた。

末筆ながら、多大なるご指導・ご助言を頂いた諸氏に厚く御礼申し上げる。

VII. 引用文献

- 大木克行, 2002. 山口県から未記録の同翅類32種. 山口県の自然, (62) : 31-38.
- 岡山県, 2003. 岡山県版レッドデータブック, 絶滅のおそれのある野生生物, 2003 : 465pp., 岡山県生活環境部自然環境課.
- 小野洋, 2004. キマダラカメムシの記録. すずむし, (139) : 26.
- 環境庁, 1997. 都道府県別メッシュマップ, 33岡山県 : 99 pp., 環境庁自然保護局計画課自然環境調査室, 東京.
- 友国雅章・石川忠, 2002. 八丈島のカメムシ目 (昆虫綱). 国立科学専報, (38) : 169-178.
- 友国雅章, 2002. 海を渡るグンバイムシ. 国立科学博物館ニュース, 2002(7) : 7.
- 野崎達也・野崎陽子, 2005. 岡山県で採集した異翅亜目 (Heteroptera) の記録. すずむし, (140) : 31-62.
- 東川修, 1998. タカイホソアワフキの東日本における採集記録. Rostria, (47) : 49-50.
- 安永智秀・高井幹夫・山下泉・川村満・川澤哲夫, 1993. 日本原色カメムシ図鑑—陸生カメムシ類— (友国雅章監修) : 380pp, 全国農村教育協会, 東京.
- 安永智秀・高井幹夫・川澤哲夫・中谷至伸 (編・著), 2001. 日本原色カメムシ図鑑第2巻 : 350pp, 全国農村教育協会, 東京.
- 安松京三・朝比奈正二郎・石原保, 1965. 原色昆虫大図鑑[第3巻], 75-136, 北隆館, 東京.
- 山田仁子, 1999. 日本産カスリヨコバイ属の分布. Rostria, (48) : 43-48.
- 山地治・福田元信, 2001. 岡山県から採集した陸生カ

メムシの記録. すずむし, (136): 33-41.
 山地治・福田元信, 2003. 岡山県から採集した陸生カ
 メムシの記録(II). すずむし, (137): 67-71.
 山地治, 2005. アワダチソウグンバイの記録. すずむし,
 (140): 92.

(お詫びと訂正)

本誌140号の「岡山県で採集した異翅亜目

おとしぶみ

メスアカミドリシジミの異常型について

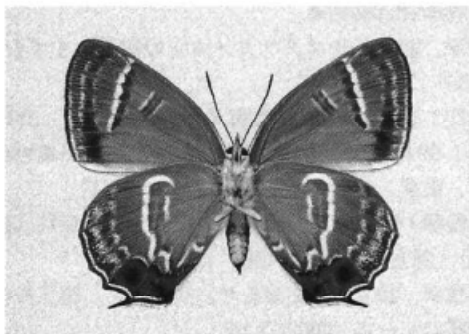
中村 具見

メスアカミドリシジミの裏面白帯が乱れた異常型を
 採卵・飼育により得ているので, 下記のとおり報告し
 ておく。

(採集地) 高梁市松山・山之上(540m)。

(採集年月日) 2003年11月16日, ヤマザクラから採
 卵。

(羽化年月日) 2004年4月30日, 1♀。



図示したように, 後翅裏面中央部の白帯が前縁付近
 で内側に湾曲しているほか, 肛角部から内縁に沿って
 基部へ向かう白帯も先端部に屈曲が認められる。

(〒719-1134 総社市真壁1048)

アオバアシナガハムシの越冬場所と分布
 地

青野 孝昭

Monolepta fulvicollis JACOBY アオバアシナガハムシの
 成虫がケヤキの樹皮下で越冬していたので報告する。

2005年3月13日, 高梁市備中町井川にてケヤキの樹
 皮を捲って, 越冬昆虫を探していたところ, 3種のハ
 ムシを見いだし, 採集したが, その中にアオバアシナ
 ガハムシの成虫1exが含まれていた。

本種成虫の越冬例については, 既に秋山・中西

(Heteroptera) の記録」において, 当時時点での岡山
 県産異翅亜目は345種であるとしたが, キマダラカメ
 ムシ *Erthesina fullo* の記録 (小野, 2004) を見落として
 いた。完全に筆者らの手ばかりであり, 深謝すると
 もにここに訂正させていただく。

p.31, 17行目 345種(誤) → 346種(正)

p.31, 23行目 417種(誤) → 418種(正)

(1992)により広島県油木町上野(広島県神石郡神石高
 原町油木)にて, ケヤキ樹皮下で越冬中の個体3exs.を
 採集した報告がある。この度の確認場所は岡山県内な
 がら, 広島県側の確認場所とは直線距離で10kmほど
 の比較的近い距離にあたり, 高梁川流域の同じ生息群
 集分布範囲の一地点と考えられる。

これまで, 広島, 岡山両県の生息確認地は広島県側
 が神石郡神石高原町油木(秋山・中西, 1992; 秋山・
 木元, 1997), 岡山県側が新見市草間羅生門(青野,
 1999), 高梁市備中町金平国有林周辺(光枝, 2001),
 真庭市落合町関塩滝・新見市哲多町無名谷(山地,
 2004)の5箇所が知られていた。

本種は本州, 北海道に分布が知られているが, 北海
 道では少ないようで, 北海道レッドリスト(昆虫)では
 希少種に挙げられている。

岡山県, 広島県では, これまでのところ生息確認地
 は上記の通り, 中国山地にほど近い吉備高原に属する
 高梁川流域の一角だけに知られ, 分布域は狭いよう
 に見受けられる。

末尾ながら, 本種成虫の越冬場所について, 報告を
 勧められた富山大学の鈴木邦雄博士に厚くお礼を申し
 上げる。

引用文献

- 青野孝昭, 1999. 羅生門の昆虫—コウチュウ目・チョ
 ウ目—, 羅生門自然環境保護・保全調査報告書:
 145-186.
 秋山美文・中西正一, 1992. ケヤキ樹皮下で越冬して
 いた甲虫. 比婆科学, (152): 36.
 秋山美文・木元新作, 1997. 広島県産ハムシ科分布記
 録. 比婆科学博物館研究報告, (35): 139-146.
 光枝洋, 2001. 金平国有林(岡山県備中町)周辺の甲
 虫相. 芳泉紀要, 32pp. 岡山県立岡山芳泉高等学校.
 山地治, 2004. 岡山県から採集した甲虫類の記録. す
 ずむし, (138): 20-24.
 (〒710-0817 倉敷市大内937-8)

岡山県で採集したテントウムシダマシ科甲虫

鈴木 茂*

岡山県のテントウムシダマシ科甲虫については、山地(1997)がそれまでの文献記録をまとめて17種を報告し、その後、青野(1999)がムナビロテントウダマシを追加したので、現在合計18種が記録されている。

筆者は、2004年から岡山県下で落葉下の土壌からアリヅカムシを始めとするハネカクシ上科の甲虫を採集してきたが、採集した甲虫の中に夏季の叩き網ではなかなか採集できないテントウムシダマシ科の甲虫が多く含まれていることに気がついた。ここでは、岡山県内において土壌ふるいによって採集したテントウムシダマシ科甲虫を中心に、叩き網やFIT(衝突板を使用した採集方法)によって採集した種も加えて、岡山県で採集した本科甲虫を報告する。

採集リストに先立ち、しばしば採集に同行していただき、種々ご教示していただいている岡山市の山地治氏と藤谷美文氏に深く感謝する。また、日頃からヒラタムシ上科の甲虫についてご指導いただいている佐々治寛之博士と、三重県鈴鹿市の生川展行氏に改めて感謝申し上げる。

採集リスト

種の配列は保育社の原色日本甲虫図鑑(Ⅲ)にならった。採集地はすべて岡山県内なので、「岡山県」を省いて表示した。また、採集者はすべて筆者であるので、これを省略した。写真番号はリストの番号に一致している。

Endomychidae テントウムシダマシ科

1. *Holoparamesus contractus* WOLLASTON

エグリツヤヒメマキムシ

2exs., 岡山市玉柏～祇園(旭川左岸), 30.V.2004, 増水ゴミのふるい。

旭川の川岸にたどり着いた増水ゴミから採集した。ツヤヒメマキムシ類は以前独立した科であったが、最近ではテントウムシダマシ科の1亜科として取り扱われている。

2. *Leiestes decoratus* (GORHAM)

イツホシテントウダマシ

1ex., 高梁市備中町平川金平国有林, 8.V.2005,

叩き網。

1ex., 奈義町滝山, 3.IX.2005, 立ち枯れ樹皮下。

叩き網などで得られるが、岡山県では多いものではない。

3. *Panamomus brevicornis* GORHAM

ホソテントウダマシ

1ex., 真庭市人形仙付近, 26.VI.2005, 土壌ふるい。

林道沿いにたまっていた落葉のふるいによって採集された。岡山県初記録。

4. *Panamomus lewisi* GORHAM ルイステントウダマシ

1ex., 吉備中央町宇甘溪, 2.III.2005, 土壌ふるい。

1ex., 吉備中央町宇甘溪, 6.III.2005, 土壌ふるい。

1ex., 高梁市備中町平川金平国有林, 9.III.2005, 土壌ふるい。

1ex., 美作市小房山, 16.IV.2005, 土壌ふるい。

いずれも落葉下の土壌のふるいによって採集された。岡山県初記録である。

5. *Stenotarsus chrysomelinus* GORHAM

チャバネムクゲテントウダマシ

5exs., 美作市小房山, 8.III.2005, 土壌ふるい。

1ex., 高梁市備中町平川金平国有林, 24-29.VII.2005, FIT。

前者は土壌ふるい、後者はFITによって採集した。

6. *Chondria lutea* GORHAM

キイロアシボソテントウダマシ

1ex., 高梁市備中町平川金平国有林, 12-17.VI.2005, FIT。

1ex., 高梁市備中町平川金平国有林, 5-14.VII.2005, FIT。

FITで採集した。岡山県初記録である。

7. *Ectomychus basalis* GORHAM

カタベニケブカテントウダマシ

1ex., 岡山市牟佐, 13.II.2005, 土壌ふるい。

1ex., 吉備中央町宇甘溪, 6.III.2005, 土壌ふるい。

1ex., 奈義町那岐山, 10.IV.2004, 土壌ふるい。

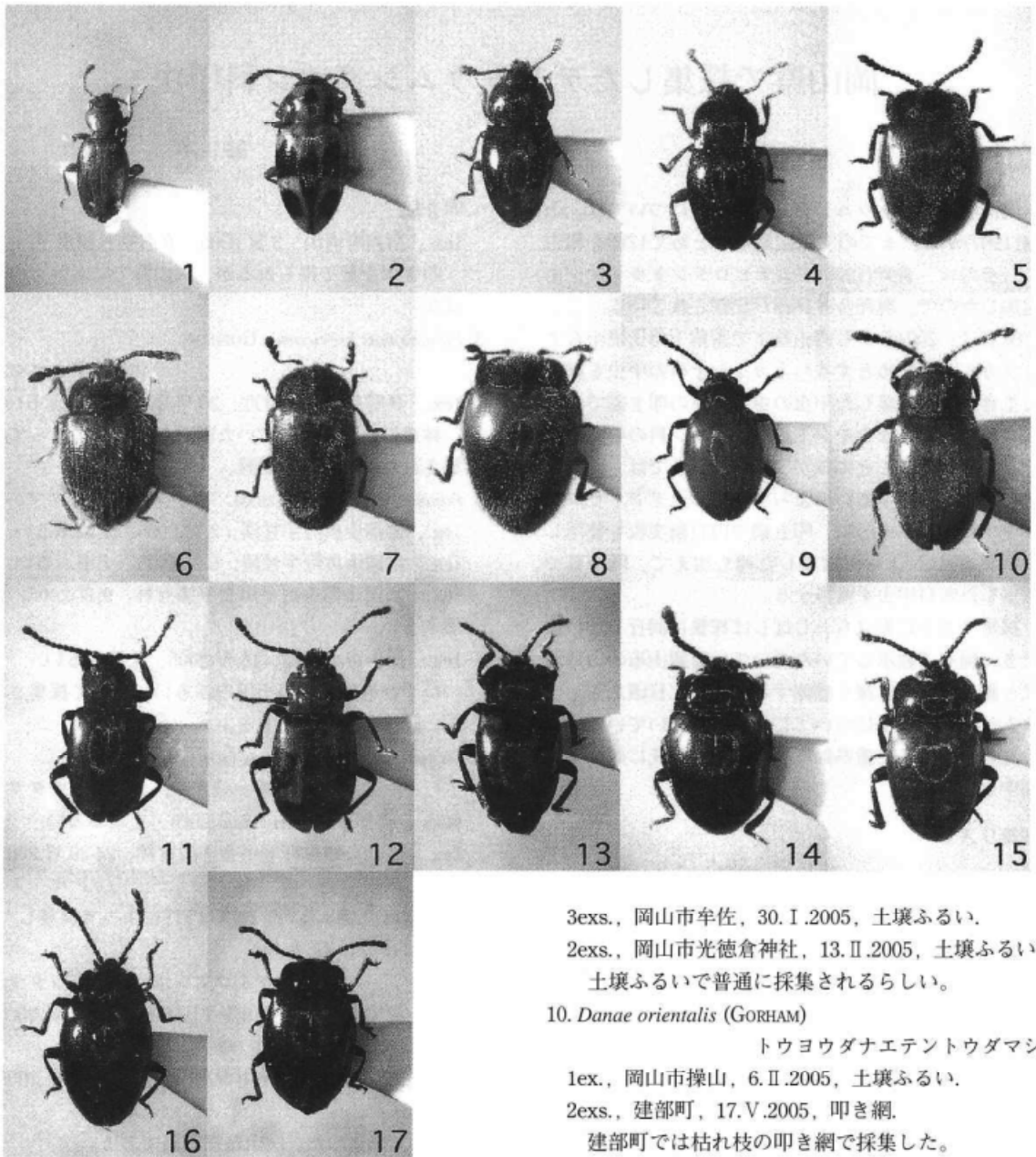
2exs., 美作市小房山, 7.VI.2003, 叩き網。

落葉下の土壌ふるいよりも、県北や吉備高原での枯枝等の叩き網で採集されることが多い。普通種。

8. *Ectomychus musculus* (GORHAM)

クロモンケブカテントウダマシ

* 〒703-8262 岡山市福泊250-5



- 1ex., 美作市小房山, 28. II. 2004, 土壌ふるい.
 1ex., 美作市小房山, 8. IV. 2005, 土壌ふるい.
 1ex., 高梁市備中町平川金平国有林, 5-14. VII. 2005, FIT.
 1ex., 高梁市備中町平川金平国有林, 14-24. VII. 2005, FIT.

上記以外では、奈義町滝山で5月に叩き網で採集したことがある。

9. *Saula japonica* GORHAM キイロテントウダマシ

- 3exs., 岡山市牟佐, 30. I. 2005, 土壌ふるい.
 2exs., 岡山市光徳倉神社, 13. II. 2005, 土壌ふるい.
 土壌ふるいで普通に採集されるらしい。

10. *Danae orientalis* (GORHAM)

トウヨウダナエテントウダマシ

- 1ex., 岡山市操山, 6. II. 2005, 土壌ふるい.
 2exs., 建部町, 17. V. 2005, 叩き網.
 建部町では枯れ枝の叩き網で採集した。

11. *Lycoperdina castaneipennis* GORHAM

クリバネツヤテントウダマシ

- 1ex., 岡山市操山幣立山, 5. II. 2005, 土壌ふるい.
 岡山県では稀な種である。

12. *Ancylopus pictus* WIEDEMANN

ヨツボシテントウダマシ

- 2exs., 倉敷市水江高梁川左岸河川敷, 17. IV. 2004, 河川敷の葎原.
 1ex., 岡山市玉柏~祇園(旭川左岸), 30. V. 2004, 増水ゴミのふるい.

河川敷の葦原や洪水ゴミから多数採集できる。

ヒラノクロテントウダマシ

13. *Mycetina amabilis* GORHAM キボシテントウダマシ
1ex., 真庭市人形仙付近, 26.VI.2005, 土壤ふるい。
1ex., 高梁市備中町平川金平国有林, 8-12.VI.2005, FIT。
1ex., 奈義町滝山, 29.VI.-9.VII.2005, FIT。
1ex., 奈義町那岐山, 8-11.VI.2005, FIT。

- 5exs., 奈義町那岐山, 21.VI.2003, 叩き網。
1ex., 高梁市備中町平川金平国有林, 3-11.IX.2005, FIT。

ルリテントウダマシに比較して少ない。

保育社の原色甲虫図鑑(Ⅲ)でウスグロテントウダマシとされていた種の名記載標本は、中根(1989)によるとヒラノクロテントウダマシであるとされ、現在ではヒラノクロテントウダマシとウスグロテントウダマシの学名はそれぞれ *E. nigropiceus* (GORHAM) と *E. ohbayashii* NAKANE が使用されている。

14. *Mycetina ancoriger* GORHAM
イカリモンテントウダマシ
1ex., 美作市小房山, 8.III.2005, 土壤ふるい。
1ex., 岡山市玉柏~祇園(旭川左岸), 30.V.2004, 増水ゴミのふるい。
1ex., 岡山市操山曹源寺, 21-24.VI.2005, FIT。
5~6月のFITで採集できる。

岡山県のテントウムシダマシ科甲虫は、上記の17種に文献記録のチャイロケブカテントウダマシ *Ectomychus nigriclavus* (GORHAM), フチトリツヤテントウダマシ *Lycoperdina dux* GORHAM, セグロツヤテントウダマシ *Lycoperdina mandarinae* GERSTAECKER, ウスグロテントウダマシ *Endomychus ohbayashii* NAKANE の4種を加え、合計21種類となる。

15. *Mycetina laticollis* GORHAM?
ムナビロテントウダマシ?
1ex., 奈義町滝山, 21.III.2004, 土壤ふるい。
2005年に倉敷市で行われた鞘翅学会において、佐々治先生にお伺いしたところ、ムナビロテントウダマシと少し違うところがあり、検討の余地があるそうである。

引用文献

16. *Endomychus gorhami* (LEWIS) ルリテントウダマシ
1ex., 奈義町滝山, 10.VII.2003, 叩き網。
2exs., 奈義町那岐山, 21.VI.2003, 叩き網。
2exs., 岡山市操山, 6.VI.2004, 叩き網。
県南から県北まで普通に採集される。

- 青野孝昭, 1999. 岡山県真庭郡新庄村土用ダム地区の甲虫類. 岡山県自然保護センター研究報告, (7): 1-44.
中根猛彦, 1989. 日本の雑甲虫覚え書 4. 北九州の昆虫, 36(1): 1-10.
山地 治, 1997. 岡山県産昆虫目録 鞘翅(甲虫)目, 534pp. 株式会社ウエスコ。

17. *Endomychus nigropiceus* (GORHAM)

おとしがみ

岡山県南部におけるイチモンジハムシの記録

木下 義久

筆者は、岡山県では比較的記録の少ないイチモンジハムシを県中域に近い南部において下記のとおり採集しているので、報告する。

【データ】

Morphosphaera japonica (HORNSTEDT)

イチモンジハムシ

- 1ex., 岡山市三門中町(国神社), 11.V.2002[写真]。
1ex., 井原市西江原町道祖溪, 25.V.2003。
いずれも筆者が採集・所蔵している。

近藤(2005)により報告された分布図によれば、本種の県南部での記録は倉敷市粒江(天津神社)のみと思われる。

そこで、今回筆者は県南部の記録として、今後の調



査の参考になると思い、報告する次第である。最後に、「昆虫の名まえを調べる会」で本種の同定をしていただいた山地治氏に厚くお礼申し上げる。

引用文献

- 近藤光宏, 2005. 倉敷でイチモンジハムシを記録. すずむし, (140): 30.

(〒700-0927 岡山市西古松1-34-9)

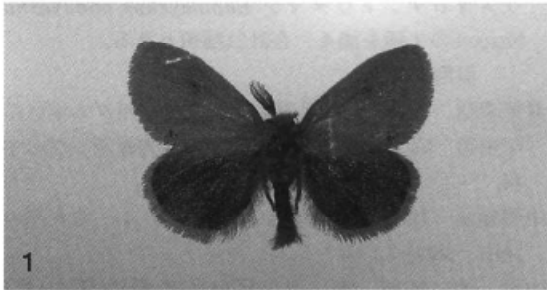
トラサンドクガの記録と生態

渡辺和夫*

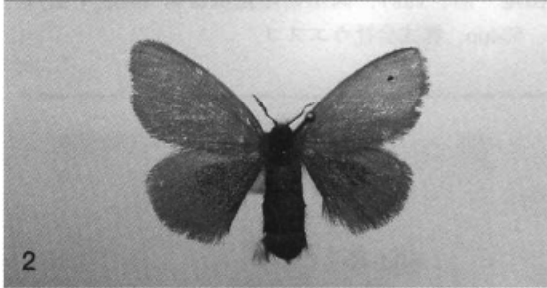
トラサンドクガ '*Euproctis torasan* (HOLLAND)は、岡山県下では非常に記録が少なく、道信(1966)による津山市黒沢山の記録及びこれを元データとすると思われる道信(1970)、岡山県(1978)などが見受けられる程度で、実質的には1例のみである。

筆者は、渡辺昭彦氏から本種の標本をいただくとともに、生態の一部についても御教示いただいたので、ここに報告しておく。貴重な標本及び情報をご恵与くださった渡辺昭彦氏に厚くお礼申し上げる。

1♂1♀、真庭郡新庄村田浪、22.V.2004、渡辺昭彦採集・筆者保管(写真1:♂, 写真2:♀)。



1



2

渡辺昭彦氏によると、当日は岡山県野生動物調査検討会昆虫部会のウスイロヒョウモンモドキ幼虫調査のために現地を訪れ、ススキ草原の中で同幼虫を探索中に発見、採集したとのこと。氏からの私信による採集時の状況と生態は以下のとおりである。

「当日は、この時期としては暑い初夏を思わせる日和であり、灌木の混じった日当たりの良いススキ原で調査活動を行っていた。晴天の昼過ぎ12時半頃に、冬季の積雪のためと思われる倒れたススキ株の所で活発に飛び回る濃黄色の蛾を見かけた。膝元の低い所を飛

び狭い範囲を行き来していた。あたかも、非常に小型の秋型ツマグロキチョウがせわしなく飛んでいるといった感じであった。しばらく観察すると地上10cmくらいの横になったススキの枯れ茎に近づいた。よく見ると茎の裏には雌と思われる幾分大型の個体が静止しておりすぐに交尾行動に入った。1分程度で交尾は成立し互いに反対向きとなって静止した。観察を続けるうちさらにもう1頭、最初の個体より暗色部の発達した雄と思われる個体が先ほどと同じように飛来し交尾中のペアに接触を開始した。



3

写真3はその時のもので、判りにくいかもしれないが、交尾中のペアに、後から来た暗色部の発達した雄個体が交尾行動を行っているところである。

見覚えのない蛾であったため、写真を撮影したあと採集した。採集時に暗色部の発達した雄個体は飛び去り、交尾中だった2個体を持ち帰った。」

複数の個体を観察しており、活発な交尾活動や探索活動も見られたこと、さらに時間帯・天候も晴天日の真昼であったことなどから、少なくとも春の個体は昼飛性が強く、他の昼飛性の種と同様、灯火へ誘引されることがほとんどないのではないかと、そのことが採集記録が少ない原因の一つではないかと、というのが昭彦氏の意見であった。

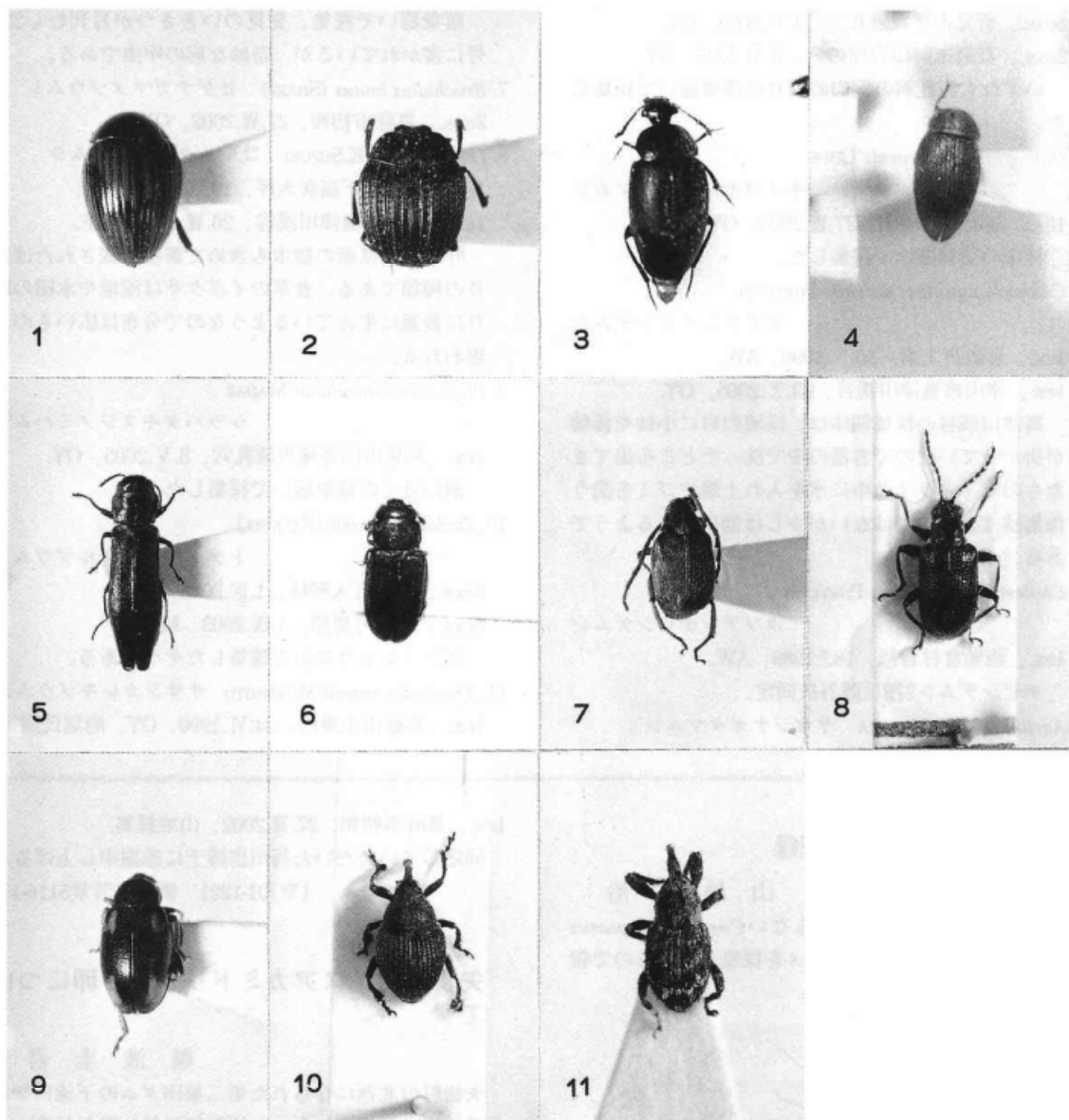
参考文献

- 岡山県、1978. 岡山県の昆虫—岡山県昆虫生息調査報告書一、146pp., 岡山県。
道信順、1966. 岡山県北部における蛾類分布資料。すずむし、16(2,3,4): 60-66。
道信順、1970. 美作地方で珍しい動物。美作の自然、(2): 11-17。

* 〒719-1132 総社市三輪203

岡山県から採集した甲虫類の記録

山 地 治*



岡山県下から採集した甲虫類のうち、記録の少ないと思われる若干の種について報告する。

貴重な採集品やデータを戴いた藤谷美文氏・福田元信氏・中野一成氏・野嶋宏一氏・渡辺昭彦氏に感謝す

る。

また、藤谷美文氏・的場巳續氏には同定をしていたき御礼申し上げるとともに、たびたび採集に付き合っていたいただいた藤谷美文氏・中野一成氏・鈴木茂氏に感謝申し上げます。

採集者名は福田元信=MF, 藤谷美文=YF, 中野一

* 〒701-1221 岡山市芳賀5116-11

成=KN, 渡辺昭彦=AW, 山地治=OY, と略記させていただいた。

また、一部の種に対しては写真を添付したが、その番号はリストの番号に対応している。

1. *Nipponocercyon shibatai* M.SATO モンケシガムシ
6exs., 新見市秘坂鍾乳穴, 3.V.2005, OY.
3exs., 真庭市阿口岩屋の穴, 3.V.2005, OY.
いずれも鍾乳洞の洞口の周りの落葉篩いで採集した。
2. *Onthophilus flavicornis* LEWIS
キノコセスジエンマムシ
1ex., 高梁市祇園山, 27.III.2005, OY.
林床の落葉篩いで採集した。
3. *Catopus angustipes apicalis* PORTEVIN
アカアシチビシデムシ
1ex., 倉敷市上東, 30.IV.1990, AW.
1ex., 津山市奥津川溪谷, 23.X.2005, OY.
奥津川溪谷の採集個体は、渓流の岩に小枝や落葉が掛かっていたので容器の中で洗ったところ出てきたもので、タライの中に水を入れ土壌やゴミを洗う採集法は効率的ではないが少しは効果があるようである。
4. *Cholevodes tenuitarsis* PORTEVIN
ホソアシチビシデムシ
1ex., 西粟倉村若杉, 18.?.1989, AW.
チビシデムシ2種は藤谷氏同定。
5. *Agrilus yamajii* TOYAMA ヤマジナガタムシ

- 1ex., 西粟倉村ダルガ峰林道, 8.V.2005, (エゾエノキ枯枝採取)→10.V.2005, 羽化脱出, KN.
鳥取県高鉢山のエゾエノキから脱出した個体で記録された種類である。
6. *Xenoscelinus hiranoi* SASAJI ヒラタコメツキモドキ
1ex., 岡山市沢田, 18.I.2005, YF・KN.
落葉篩いで採集。発見のいきさつが月刊むし235号に書かれているが、奇妙な形の甲虫である。
7. *Bruchidius lautus* (SHARP) ヒゲナガマメゾウムシ
2exs., 真庭市初和, 27.VII.2002, OY.
8. *Lema michioi* K.SUZUKI コルリクビボソハムシ
1ex., 津山市下高倉大坪, 19.IX.2004, MF.
1ex., 津山市奥津川溪谷, 26.VII.2004, MF.
昨年岡山県産の標本も含めて新種記載されたばかりの種類である。食草のイボクサは湿地や水田の周りに普通に生えているようなので分布は広いものと思われる。
9. *Phyllotreta shirahatai* MADAR
シラハタクスジノミハムシ
1ex., 新見市国寄秘坂鍾乳穴, 3.V.2005, OY.
洞口近くの落葉篩いで採集した。
10. *Zacladus geranii* (PAYKULL)
トゲトゲクロサルゾウムシ
2exs., 鏡野町人形峠, 1.IX.2003, MF.
2exs., 鏡野町恩原, 1.IX.2003, MF.
ゲンノショウコから採集したそうである。
11. *Trachodes sasajii* MORIMOTO ササジカレキゾウムシ
1ex., 真庭市山乗山, 24.VI.1990, OY, 的場氏同定。

おとしがみ

ハネナシサシガメの記録

山 地 治

岡山県からの記録が見当たらない *Coranus dilatatus* (MATSUMURA) ハネナシサシガメを採集しているので報告する。



1ex., 真庭市初和, 27.VII.2002, 山地採集。
同定していただいた石川忠博士に感謝申し上げる。
(〒701-1221 岡山市芳賀5116-11)

矢掛町のメスアカミドリシジミ卵について

難 波 圭 吾

矢掛町の北西に作られた第二星田ダムの下流に架かる橋付近より採卵した。矢掛町初記録と思われる。

採卵場所 岡山県小田郡矢掛町宇内平矢
採卵日 2005年2月2日
採卵数 2卵
採卵木 ヤマザクラ
標高 110メートル

(〒719-1143 総社市上原349-2)

二上山と大平山の甲虫若干の採集記録

青野孝昭*

久米郡の最高峰である二上山(標高689m)と加賀郡吉備中央町と高梁市の境に位置する大平山(標高697m)は、いずれも吉備高原地域に属しながら、岡山県の南限、または、南限付近のブナ及びイヌブナの自生地として知られ(西本・知職, 1996)、現在より寒冷な時代に生育していた植物の残存地として、昆虫にもそのような種が生息しているか興味を持たれる。しかし、いずれの山についても昆虫に関する資料は極めて乏しい状況にあることから、それぞれ、わずか1日の短時間中に得られた資料ではあるが、得られた甲虫類の採集データを報告しておく。今後の調査のきっかけになれば幸いである。

1. 二上山

二上山は現在の行政区画では久米郡美咲町に属している。頂上近くには両山寺があり、西の山頂(標高689m)にはテレビ塔が建っている。中国山地ではブナは標高の低い場所に生育する場合、イヌシデやアカシデと一緒に生育することが多く、さらに低くなるとアカガシが混じることがあり、二上山地区ではブナにイヌシデやアカガシが混生することから、ブナの生育する下限域にあると考えられるとされている。

調査は2005年5月17日に、両山寺より上に位置する西の山頂に通ずる登山道付近で行った。採集した種と個体数は下記のリストのとおりで、採集者は全て筆者である。

Carabidae オサムシ科

Ohomopterus chugokuensis (NAKANE)

アキオサムシ, 1♀.

Amara chalcites DEJEAN マルガタゴミムシ, 1ex.

Anisodactylus tricuspoidatus MORAWITZ

ヒメゴミムシ, 1♀.

Lebia retrofasciata MOTSCHULSKY

ジュウジアトキリゴミムシ, 1ex.

Dromius batesi HABU

ベーツホソアトキリゴミムシ, 1ex.

Scarabaeidae コガネムシ科

Paraserica gricea (MOTSCHULSKY)

ハイイロビロウドコガネ, 1♂.

Adoretus tenuimaculatus WATERHOUSE

コイチャコガネ, 1ex.

Elateridae コメツキムシ科

Agrypnus binodulus (MOTSCHULSKY) サビキコリ, 3exs.

Limoniscus kraatzi nihonicus (KISHII)

フタキボシカネコメツキ, 1♀.

少ない種で、県北の中国山地及び県西部の高梁市備中町金平国有林周辺から少数の採集報告がなされていた程度であった。この度の県中央部に位置する吉備高原からの発見例は初めてで、二上山山頂付近が周日本海要素の昆虫と言われる本種の生息を許していたことが注目に値する。

Neopristilophus serrifer serrifer (CANDEZE)

アカヒゲヒラタコメツキ, 1♂.

県北部の中国山地と県西部の新見市哲多町田淵のほか、高梁市の臥牛山に分布が知られていた程度で、報告例は少なく、吉備高原地域には少ない種と考えられる。

Dolerosomus gracilis (CANDEZE)

キバネホソコメツキ, 1ex.

Ectinus sericeus (CANDEZE) カバイロコメツキ, 2exs.

Melanotus cete CANDEZE

アカアシオオクシコメツキ, 1♀.

Melanotus erythropygus CANDEZE

コガタクシコメツキ, 1♂.

Melanotus koikei KISHII et OHIRA

ヒラタクシコメツキ, 1♂.

Cantharidae ジョウカイボン科

Asiopodabrus malthinoides (KIESENWETTER)

クロヒメクビソジョウカイ, 1♂1♀.

Athemus japonicus (KIESENWETTER)

ヒメジョウカイ, 1♂.

Athemus vitellinus (KIESENWETTER)

セボシジョウカイ, 2♂2♀.

Byturidae キスイモドキ科

Byturus affinis REITTER キスイモドキ, 1ex.

Coccinellidae テントウムシ科

Scymnus posticalis SICARD コクロヒメテントウ, 1ex.

Harmonia axyridis (PALLAS) ナミテントウ, 1ex.

* 〒710-0817 倉敷市大内937-8

Oedemeridae カミキリモドキ科

Oedemeronia lucidicollis (MOTSCHULSKY)

モモブトカミキリモドキ, 1♂1♀.

Cerambycidae カミキリムシ科

Atimula japonica BATES コブスジサビカミキリ, 1ex.

Chrysomelidae ハムシ科

Syneta adamsi BALY

ホソハムシ (カバノキハムシ), 2exs.

県内のこれまでの記録はほとんどが県北の中国山地からのもので、岡山県野生生物目録(2003)では県北部に多く生息し、中部、南部には記録がないような表記になっている。しかし、岡山県西部では年平均気温が県北並みに低くなる地形的な特性があり、本種の南限記録として光枝(2001)による高梁市備中町の金平国有林周辺からの採集報告例がある。ただし、岡山県中、東部では吉備高原からの発見例はこれまでなく、注目に値する分布確認例と思われる。岡山県野生生物目録の県中部の欄は記録なしを意味する一記号から少数分布を意味する十記号に訂正をお願いしておきたい。

Thlaspidia cribrata (BOHEMAN)

イチモンジカメノコハムシ, 1ex.

Gonioctena rubripennis BALY フジハムシ, 1ex.*Agelasa nigriceps* MOTSCHULSKY

キクピアオハムシ, 5exs.

Liroetis coeruleipennis WEISE

ルリバナナガハムシ, 1ex.

Aphthona perminuta BALY ツブノミハムシ 2exs.*Hemipyxis plagioderoides* (MOTSCHULSKY)

ヒゲナガルリマルノミハムシ, 1ex.

岡山県野生生物目録では県中部、南部にはいない表示になっているが、県中部では、これまでも新見市草間羅生門(岡山県, 1985; 青野, 1999)、和気郡佐伯町田賀(青野, 1996)などから記録されており、二上山で確認されたことも、本種が吉備高原地域にも少数ながら分布していることを裏付ける事例の一つとなろう。岡山県野生生物目録の県中部の欄は一記号から十記号に訂正をお願いしておきたい。

Longitarsus scutellaris (REV)

オオバコトビハムシ, 1ex.

Pseudodera xanthospila BALY

フタホシオオノミハムシ, 4exs.

Oomorhoides cupreatus (BALY)

ドウガネツヤハムシ, 2exs.

Cryptocephalus approximatus BALY

バラルリツツハムシ, 5exs.

Lypesthes ater (BALY) リンゴコフキハムシ, 2exs.

Atelabidae オトシブミ科

Apoderus jekelii ROELOFS オトシブミ, 1♂1♀.

Brentidae ミツギリソウムシ科

Apion placidum FAUST

ヒゲナガホソクチゾウムシ, 2exs.

Curculionidae ゾウムシ科

Phyllobius intrusus KONO

ヒラズネヒゲボソゾウムシ, 1ex.

Myllocerus griseus ROELOFS

カシワクチブトゾウムシ, 1ex.

Curculio styracis (ROELOFS) エゴシギゾウムシ, 2exs.*Scleropteroides hypocrita* (HUSTACHE)

キイチゴトゲサルゾウムシ, 5exs.

2. 大平山

大平山は高梁市と加賀郡吉備中央町の境に位置している。この度の調査では2005年5月16日に岡山自動車道の有漢インターチェンジで高速道から降り、高梁市側から上り、中腹にある駐車場に車を置いて、北側の展望台がある頂上までを往復する車道コース周辺を歩いて採集を試みた。駐車場から上には「大平山いこいの森」として整備された部分もあり、また、広い面積にわたって伐採された跡地もある。ヒノキの植林が目立ち、展望台付近には桜が植えられていたり、相当に人の手が加えられているが、大平山のブナ林にはアカシデ、ブナ、コナラ、アベマキ、ミズナラなどの夏緑樹と常緑樹であるアカガシが混生して生育するのが特徴であるとされている。歩いた道縁にはカシワの自生木も見ることができた。

なお、この山には、かつての賀陽町側から、1976年1月2日に登ったことがあるが、当時は現在のような車道はなく隔世の感がある。因みに、その時はヤセアトキリゴミムシ1ex., ヤホシゴミムシ1ex., ホソスジデオキノコムシ1ex., コクワガタ1♀, オオエグリゴミムシダマシ2♂5♀を採集していた。

本年の調査で筆者が採集した種と個体数は次のリストに示すとおりである。

Carabidae オサムシ科

Ohomopterus yaconinus (BATES) ヤコンオサムシ, 1♀.*Colpodes lampros* BATES

コハラアカモリヒラタゴミムシ, 1♂2♀.

Chlaenius naeviger MORAWITZ

アトボシアオゴミムシ, 1♀.

Lebia bifenestrata MORAWITZ

フタホシアトキリゴミムシ, 3exs.

Lebia duplex BATES

ハネビロアトキリゴミムシ, 2exs.

Lebia retrofasciata MOTSCHULSKY

ジュウジアトキリゴミムシ, 2exs.

Lebidia octoguttata MORAWITZ ヤホシゴミムシ, 1♂.

Scarabaeidae コガネムシ科

Adoretus tenuimaculatus WATERHOUSE

コイチャコガネ, 1ex.

Nipponovalgus angusticollis (WATERHOUSE)

ヒラタハナムグリ, 1ex.

Gametis jucunda (FALDERMANN)

コアオハナムグリ, 1ex.

Rhipiceridae クシヒゲムシ科

Sandalus segnis LEWIS クチキクシヒゲムシ, 1♀.

これまで岡山県内での発見例は少ないようで、中国山地の真庭郡新庄村土用ダム地区(青野, 1999)と勝田郡奈義町那岐山(鈴木, 2005), 吉備高原の高梁市臥牛山(山砥, 1968)の3例の報告を見ているのみである。山砥(1968)によると臥牛山では路上を歩行中の黒色翅雌を採集したそうであり、この度、大平山での発見例も路上に静止していた黒色翅の雌であった。なお、筆者は土用ダム地区では道路脇の側溝の溜めますに流れ着いていた褐色翅の雄を採集しており、また、未報告であったが臥牛山では1975年9月14日に褐色翅で頭部のない死骸1個体を取得している。

Buprestidae タمامシ科

Trachys broussonetiae Y. KUROSAWA

コウゾチビタمامシ, 1ex.

Elateridae コメツキムシ科

Agrypnus cordicollis (CANDEZE)

ムナビロサビキコリ, 1ex.

Actenicerus aerosus (LEWIS)

コガタシモフリコメツキ, 1ex.

Kibunea eximia (LEWIS)

ムラサキヒメカネコメツキ, 2exs.

Limoniscus niponensis (LEWIS)

ニホンカネコメツキ, 6exs.

Ampedus hypogastricus (CANDEZE)

アカハラクロコメツキ, 2exs.

Ampedus optabilis (LEWIS) オオアカコメツキ, 1♂.

岡山県内のデータ付き記録としては、渡辺(1977)による高梁市臥牛山の記録があり、直海俊一郎氏が1977年5月29日に1♀を採集されたことが記されている。一方、岡山県(1978)が発行した「岡山県の昆虫一岡山県昆虫生息調査報告書」には県北にも分

布していることが表示されているが、データは紙面の関係で示されていなかった。折角の機会なので当時の関係者の一人として、県北のデータを示しておくことと次のおりである。

1ex., 真庭市川上町明連溪谷, 24.V.1964, 青野孝昭採集, 大平仁夫同定保管。

報告が遅くなって恐縮であるが、当時、同定をしていただいた大平仁夫博士にこの紙面を借りて厚くお礼を申し上げる。

結局、この度の採集例は岡山県内3例目の記録となると思われ、中国山地から吉備高原にかけて生息しているものと考えられるが、生息密度の低い種かも知れない。

Dolerosomus gracilis (CANDEZE)

キバネホソコメツキ, 2exs.

Ectinus sericeus (CANDEZE) カバイロコメツキ, 2exs.

Cantharidae ジョウカイボン科

Athemus japonicus (KIESENWETTER)

ヒメジョウカイ, 1♂3♀.

Asiopodabrus malthinoides (KIESENWETTER)

クロヒメクビボソジョウカイ, 2exs.

Hatchiana heydeni (KIESENWETTER)

クビボソジョウカイ, 1♀.

Phalacridar ヒメハナムシ科

Merobrachys bimaculatus (MATSUMURA)

フタホシヒメハナムシ, 1ex.

これまで、岡山県内では、山地(1994)によって真庭市湯原町霞ヶ丘が産地として報告されているのが正式の記録となっている程度で、1991年8月24日に渡辺昭彦氏が灯火採集で1ex.を得られていることが記されている。それ以外にも県北の山地からは一、二か所、分布が知られているが、県中部の吉備高原地域からはまだ記録されていないようである。情報不足の種であろうと思われるが、この度の大平山調査で県北部以外で知られていなかったのはこの種だけである。

Cryptophagidae キスイムシ科

Cryptophagus callosipennis GROUVELLE

ヨツモンキスイ, 2exs.

Languriidae コメツキモドキ科

Languriomorpha lewisi (CROTCH)

ルイスコメツキモドキ, 1ex.

Coccinellidae テントウムシ科

Scymnus posticalis SICARD

コクロヒメテントウ, 2exs.

Chilocorus kuwanae SILVESTRI

ヒメアカホシテントウ, 1ex.
Calvia quatuordecimguttata (LINNAEUS)
 シロジュウシホシテントウ, 1ex.
Harmonia axyridis (PALLAS) ナミテントウ, 1ex.
Propylea japonica (THUNBERG)
 ヒメカメノコテントウ, 1ex.
 Tenebrionidae ゴミムシダマシ科
Arthromacra decora (MARSEUL)
 アカガネハムシダマシ, 1ex.
 Cephaloidea クビナガムシ科
Cephaloon pallens (MOTSCHULSKY) クビナガムシ, 1ex.
 Cerambycidae カミキリムシ科
Anastrangalia scotodes (BATES)
 ツヤケシハナカミキリ, 1♂.
Lemula decipiens BATES
 キバネニセハムシハナカミキリ, 1ex.
Mesosa japonica BATES ゴマフカミキリ, 1♀.
Asaperda rufipes BATES
 キクスイモドキカミキリ, 1ex.
Rhopalascelis unifasciatus BLESSIG
 ヒトオビアラゲカミキリ, 2exs.
 Chrysomelidae ハムシ科
Liliocerus parvicollis (BALY)
 ホソクビナガハムシ, 1ex.
Cassida versicolor (BOHEMAN)
 セモンジンガサハムシ, 1ex.
Gonioctena rubripennis BALY フジハムシ, 1ex.
Arthrotus niger MOTSCHULSKY
 ムナグロツヤハムシ, 2exs.
Aphthona perminuta BALY ツブノミハムシ, 4exs.
Psylliodes subrugosa JACOBY
 ダイコンナガスネトビハムシ, 1ex.
Oomorhoides cupreatus (BALY)
 ドウガネツヤハムシ, 4exs.
Cryptocephalus approximatus BALY
 バラルリツツハムシ, 1♂1♀.
Cryptocephalus confusus SUFFRIAN
 チビルリツツハムシ, 1ex.
Acrothidium gaschkevitchii (MOTSCHULSKY)
 アカガネサルハムシ, 1ex.
 Anthribidae ヒゲナガゾウムシ科
Araecerus tarsalis (SHARP)
 アカアシヒゲナガゾウムシ, 1ex.
 Attelabidae オトシブミ科
Cyncotrachelus roelofsi (HAROLD)
 エゴツルクビオトシブミ, 2♀.

Euops konoi SAWADA et MORIMOTO
 ナラルリオトシブミ, 1♀.
 Curculionidae ゴウムシ科
Phyllobius intrusus KONO
 ヒラズネヒゲボソゾウムシ, 3exs.
Myllocerus nipponensis ZUMPT
 ツンブトクチブトゾウムシ, 1ex.
Dorytomus maculipennis ROELOFS
 モンイネゾウモドキ, 1ex.
Orchestes japonicus (HUSTACHE)
 カシワノミゾウムシ, 1ex.
Curculio convexus (ROELOFS)
 セダカシギゾウムシ, 1ex.
Scleropteroides hypocrita (HUSTACHE)
 キイチゴトゲサルゾウムシ, 1ex.
Dyscerus elongatus (ROELOFS)
 ホソアナアキゾウムシ, 1ex.

引用文献

青野孝昭, 1999. 岡山県真庭郡新庄村土用ダム地区の
 甲虫類. 岡山県自然保護センター研究報告, (7): 1-
 44.
 青野孝昭, 1999. 羅生門の昆虫—コウチュウ目・チョ
 ウ目—. 羅生門自然環境保護・保全調査報告書:
 145-186.
 岡山県, 1978. 岡山県の昆虫—岡山県昆虫生息調査報
 告書一, 146pp.
 岡山県, 1985. 自然保護基礎調査報告書(高梁川上流
 県立自然公園羅生門特別地域自然環境調査—59年度
 調査—). 82pp.
 岡山県, 2003. 岡山県野生生物目録, 397pp.
 鈴木茂, 2005. 岡山県産甲虫類採集記録(2). すず
 むし, (140): 76-77.
 西本孝・知職恵, 1996. 岡山県南限のブナについて.
 岡山県自然保護センター研究報告, (4): 29-38.
 光枝洋, 2001. 金平国有林(岡山県備中町)周辺の甲虫
 相. 芳泉紀要, 32pp. 岡山県立岡山芳泉高等学校.
 山地治, 1994. 岡山県から採集した甲虫類の記録. す
 ずむし, (128): 7-13.
 山砥司朗, 1968. 備中産甲虫雑記(1). すずむし,
 (101): 22.
 渡辺昭彦, 1977. 岡山県のコメツキムシ. すずむし,
 (114): 1-16.

岡山県から採集されたチビシテムシの記録

藤 谷 美 文*

岡山県下のチビシテムシ亜科の甲虫は、筆者の調査では、未記載種を含め24種が分布している。

採集方法が特殊なためか採集報告例の少ない種群であるが、各種のトラップで比較的容易に採集される。

最近、県下で採集された比較的採集例の少ない3種について報告する。

タマキノコムシ科 Leiodidae

チビシテムシ亜科 Cholevinae

1. タンザワヒメチビシテムシ

Nemadus (Nemadus) asagi M.NISHIKAWA, 1986

1♂, 奈義町滝山, 10.IX.2002, 筆者採集, 筆者保管.

神奈川県丹沢の札掛と堂平産で記載された種で北陸(西川正明, 1993), 関東(平野幸彦, 2004), 近畿(横関秀行, 2004)から記録されているが、中国地方からは初記録と思われる。

検視標本は、ベイトトラップからの回収に時間がかかった為、腐敗が激しく著しく分解していたが、腹端部が残っており、辛うじて交尾器の観察が可能であったので持ち帰った個体である。

その個体は、すでに同地で生息を確認しているヒメチビシテムシであろうと思い、そのまま保存しておいたのだが、最近になって、解剖し検鏡してみると、驚いたことに、雄交尾器の中片頂部と側片の形状及び生殖節の形状が本種記載と一致し、本種と同定された。

完全な標本を得たいと思っているが、未だに追加個体は得られていない。

2. イシハラヒメチビシテムシ

Nemadus (Nemadus) ishiharai MIYAMA, 1985

1♂, 奈義町滝山, 10.XI.2002, 筆者採集, 筆者保管.

1♀, 奈義町滝山, 13.IV.2003, 筆者採集, 筆者保管.

1♀, 加茂町奥津川, 23.XI.2003, 筆者採集, 筆者保管.

愛媛県面河溪産で記載された種で、四国以外にも本州各地で得られており、隣県の兵庫県からも春と

秋に採集されている(林 靖彦, 1985)。

比較的稀な種のように、岡山県からの採集例は極めて少なく、現在のところ中国地方の他県からの採集例は知られていない。

採集はすべてピットフォールタイプのベイトトラップでおこない、ベイトには生エビと乾燥サナギ粉を使用した。

3. ニセチビシテムシ

Ptomaphagus (Ptomaphagus) sibiricus JEANNEL, 1934

1 ex, 真庭市蒜山下和山乗山, 2.VII.2004, 筆者採集, 西川正明保管.

1♀, 新見市草間, 27.III.2005, 筆者採集, 筆者保管.

2♂1♀, 美作市白水, 28.IV.2005, 筆者採集, うち1♂1♀林靖彦保管.

1♀, 美作市白水, 11.V.2005, 筆者採集, 筆者保管.

1♂, 備中町平川, 8.VI.2005, 鈴木茂採集, 鈴木保管.

1♂, 奈義町那岐山, 12.VIII.2005, 鈴木茂採集, 鈴木保管.

ロシアのウラジオストク産で記載された種で、東シベリアと本州に分布しているが、採集例は必ずしも多くないようだ。

岡山県では近年になり沢山採集されるようになった。早春から夏まで見られ、5月頃にテネラルな個体が得られている。

ベイトトラップ、落ち葉篩い、FITなどで採集され、新見市産は落ち葉篩い、美作市産はベイトトラップ、真庭市、備中町、奈義町産はFIT(丸山式 Flight Interception Trap)で採集された。

なお、本種については、美作市産の個体について林靖彦氏に確認、同定の労を賜った。記して厚くお礼申し上げる。

参考文献

林 靖彦, 1985. 雨石山麓において鶏肉トラップに誘致された甲虫類について(1). ねじればね, (52): 1-7.

平野幸彦, 2004. コウチュウ目. 神奈川県昆虫誌, (2): 335-836. 神奈川昆虫談話会.

* 〒701-1143 岡山市吉宗137

NISHIKAWA, M., 1986. A New Catopid Beetle (Coleoptera, Catopidae) from Japan. Pap. Ent. Pres. NAKANE, Tokyo: 107-110.
西川正明, 1993. 新潟県新保岳で得られたチビシデム

シ, 甲虫ニュース, (102): 9.
横関秀行, 2004. 三重県のチビシデムシ, ひらくら, 48(4): 51-53.

おとしぶみ

岡山県のアリヅカコオロギ類の記録と訂正

末長晴輝

アリヅカコオロギは日本最小のコオロギのグループで, アリの巣の中に生息している好蟻性昆虫である。日本からは約10種類が記録されており, 寄主特異性が強い。筆者はアリヅカコオロギ類を2種類確認したので記録する。アリヅカコオロギの同定をしていただき, 報告を勧めてくださった国立科学博物館の丸山宗利博士に厚くお礼を申し上げる。

1. クボタアリヅカコオロギ

Myrmecophilus kubotai MARUYAMA, 2004

3exs., 倉敷市向山, 26.III.2003, 筆者採集, 保管。

この記録は, 末長(2004)でアリヅカコオロギとして記録したものである。

2. サトアリヅカコオロギ

Myrmecophilus tetramorii ICHIKAWA, 2001

1ex., 倉敷市大島, 17.IV.2005, 筆者採集, 保管。

2exs., 倉敷市児島由加, 17.IV.2005, 筆者採集, 保管。

両方ともトビイロシワアリの巣内で採集したものである。

末長(2004)で, ほかに数個体をアリヅカコオロギとして記録しているが, ホストのアリを採集していなかったため種名が確定していないので, とりあえず記録を削除しておく。

引用文献

末長晴輝, 2004. 倉敷市内におけるアリヅカコオロギの追加記録, すずむし, (138): 34.
(〒710-0826 倉敷市老松町3-14-33クリーンピア106号室)

岡山県におけるヒサゴクサキリの追加記録

末長晴輝

ヒサゴクサキリは, 岡山県内では奥島(2003)の倉敷市水江高梁川の記録によって最近記録されたキリギリ

スの仲間である。筆者はこの度, 本種を倉敷市酒津八幡山で採集した。また, 倉敷市立自然史博物館にもその後, 複数の本種が寄贈されているので, 併せて記録する。なお, 生きた状態で発見された記録は県内で初めてである。

<データ>

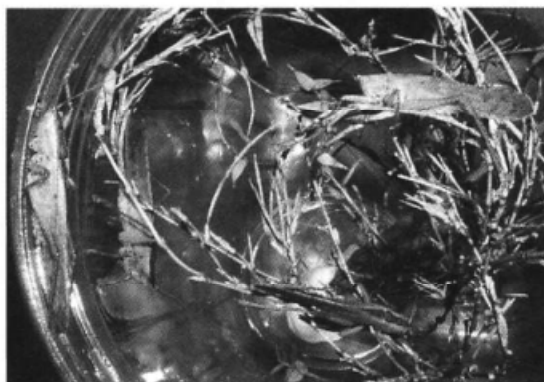
Agraecia lutea (MATSUMAURA et SHIRAKI)

ヒサゴクサキリ

1♀, 倉敷市酒津八幡山, 18.VII.2004, 筆者採集, 保管。

2♀, 岡山市掛畑付近, 27.VII.2004, 難波稔明採集, 倉敷市立自然史博物館保管。

3♂2♀, 岡山市足守, 1.IX.2004, 高谷明彦採集, 倉敷市立自然史博物館保管(写真)。



筆者の採集品は, 倉敷市立自然史博物館の事業「むしむし探検隊」で酒津八幡山を訪れた時に, タケトラカミキリ狙いで道路沿いに生えているタケの仲間をしつこく拘ったところ, 偶然網に入ったものである。

最後に, 倉敷市立自然史博物館の収蔵標本の記録報告を快く許された同館の奥島雄一先生, ヒサゴクサキリを同館へ寄贈された岡山市の難波稔明さん, 山手村の高谷明彦さんに厚くお礼申し上げます。

引用文献

奥島雄一, 2003. ヒサゴクサキリ(バッタ目, キリギリス科)の岡山県における記録, 倉敷市立自然史博物館研究報告, (18): 27.

(〒710-0826 倉敷市老松町3-14-33クリーンピア106号室)

シラホシアシブトクチバの記録

渡 辺 和 夫

Achaea janata (LINNAEUS) シラホシアシブトクチバは、インドから東南アジア一帯、南太平洋の島嶼域等に広域に分布する南方系の種で、我が国でも本州以南で散発的に記録され、琉球では定着しているものと推定されている(井上ほか, 1982)。

岡山県では、横本(1966)が赤枝一弘氏の行った岡山市半田山植物園所蔵標本調査結果を基に岡山市半田山の記録を報告したのが最初の記録で、その後、赤枝(1970)が同一の記録を写真を添えて発表している。

近年では、財団法人リバーフロント整備センター(2000)が、岡山市平井及び岡山市中原の2カ所を記録しているようである。

筆者は、本種を次のとおり岡山市街地の中心部で採集することができたので、参考のため記録しておく。

1ex., 岡山市本町, 15.IX.2005, 筆者採集・保管。



採集したのは岡山駅地下街から本町のフジビル方面への出口に当たる階段の壁面で、朝の通勤時に見慣れないものがとまっていると思いながらもそのままにしてしまい、工作中ずっと気になっており、仕事終了後に直ちに当地に向かったところ、朝と同じ姿で静止していたものを指ではじいて採集したものである。

当日は、9月6日に中国地方を通過した台風14号から約10日後に当たり、写真で見るとおり左右後翅は著しく破損しているが、特徴ある前翅は健在である。

参考文献

赤枝一弘, 1970. 岡山市の蛾類目録1. すずむし, (104): 19-34.

井上寛ほか, 1982. 日本産蛾類大図鑑. 講談社, 東京. 財団法人リバーフロント整備センター編, 2000. 陸上昆虫類等調査編一旭川. 平成10年度河川水辺の国勢調査年鑑.

横本精二, 1966. 岡山県未記録の蛾. すずむし, 16(2,3,4): 46-59.

(〒719-1132 総社市三輪203)

スジミズアトキリゴミムシの記録について

近 藤 光 宏

筆者は、高梁市立高倉小学校主催の総合学習に招かれ、児童と共に今年のカワラバッタの生息状況を調べるため、近くの河原で昆虫採集をしていた。児童の一人が「小さな虫がいる！」と私を呼ぶのでよく見ると、握りこぶしほどの礫と礫の間をすばやく動き回る黒光りする2~3ミリほどの小さな甲虫が目にとまった。名前を聞かれたが、わからないので、採集して持ち帰り調べることにした。

その後、本会の青野孝昭氏に同定していただく機会に恵まれ、本種はアトキリゴミムシの一種でスジミズアトキリゴミムシ(写真)と判明した。更に、「本種は河原のやや乾燥した場所に生息し、それに連なる海岸地方などで採集され、県内では中部以南から記録されている。高梁川本流では、この標本は最も北に位置する場所で得られている。」などと貴重なご助言を賜わり、発表するよう勧めて下さった。遅くなったがデータを添えて、発見した児童に代わって報告する次第である。

<データ>

オサムシ科 Carabidae

スジミズアトキリゴミムシ *Apristus grandis* ANDREWES
3exs., 2.X.2003, 岡山県高梁市高倉, 安藤洋行(当時3年生)採集, 2exs.筆者所蔵.



おわりに、同定の労を快くお引き受けくださり、貴重なご助言を賜った青野孝昭氏に紙面をお借りして御礼申し上げます。

(〒710-0046 倉敷市中央2-16-14)

吉備中央町加茂川でメスアカミドリ採卵

難 波 圭 吾

2004年10月の賀陽町との合併以前の旧加茂川町においては、記録されていないと思われるので、報告しておく。

採卵場所 岡山県吉備中央町加茂川円城岩倉山

採卵日 2005年2月16日
 採卵数 2卵
 採卵木 ソメイヨシノ
 標高 380メートル

(〒719-1143 総社市上原349-2)

岡山市内でメスアカミドリ卵採れる

難波圭吾

岡山市の間倉と掛畑で採卵しているので報告する。
 なお、間倉の記録は岡山市初記録と思われる。

①採卵場所 岡山市間倉東間倉

採卵日 2005年2月6日
 採卵数 6卵
 採卵木 ヤマザクラ
 標高 330メートル

②採卵場所 岡山市掛畑曾良

採卵日 2005年2月13日
 採卵数 1卵
 採卵木 ヤマザクラ
 標高 400メートル

(〒719-1143 総社市上原349-2)

訂正 (すずむし第138号)

鈴木 茂

すずむしNo.138 (2004) の「岡山県で採集したホソカタムシ類」で、ノコギリホソカタムシの採集記録中に採集年月日の間違いがありましたので、訂正いたします。

26ページ左上から3行目

誤：2exs., 奈義町滝山, 39.VI.2003.

正：2exs., 奈義町滝山, 30.VI.2003.

(〒703-8262 岡山市福泊250-5)

岡山市のメスアカミドリシジミ、追加記録

中村 具見

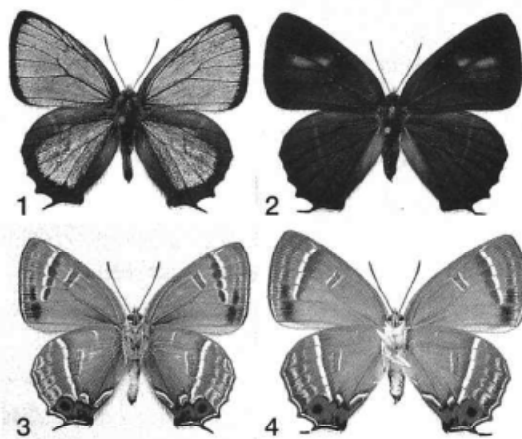
岡山市の北西部、足守地区の一角から同市内からは初記録となるメスアカミドリシジミが難波圭吾氏によって発見され、同氏からその状況をお知らせいただいたので、筆者もその近傍を調査したところ、下記の通り確認することができた。

追加記録として報告するとともに、貴重な情報をご教示いただいた難波氏に深謝する次第である。

岡山市河原別所(320m), 8卵(ヤマザクラから), 11.II.2005, 筆者採集。

これらの卵からは、5月4日から7日にかけて1♂

3♀が羽化した。



1 メスアカミドリシジミ♂ (2005年5月4日羽化)

2 メスアカミドリシジミ♀ (2005年5月7日羽化)

3 1の裏面

4 2の裏面

確認したのは足守地区北部の山地で、難波氏が得た間倉地区の北側にあたる溪谷上部の林道沿いにおいてヤマザクラ低木から採卵したものであるが、調査した範囲とヤマザクラの数に比べて、本種の卵はきわめて少なく、この付近おける生息密度はかなり低いように思われる。

(〒719-1134 総社市真壁1048)

岡山県産ハムシの記録

末長 晴輝

筆者は、下記のハムシを採集しているので記録する。

1. クロアシヒメツツハムシ

Coenobius piceipes GRESSITT

1ex., 倉敷市酒津八幡山, 18.VII.2004, 筆者採集, 保管(写真1).

下草をスィーピングして得たので、寄主植物は分からなかった。岡山県内では青野(2005)の倉敷市粒江七ツ池での記録がある。

2. コブアラゲサルハムシ *Demotina tuberosa* CHEN

1ex., 勝北町爪ヶ城, 11.V.2003, 筆者採集, 保管(写真2).

岡山県野生生物目録(岡山県編, 2003)に掲載されておらず、県内未記録と思われる。

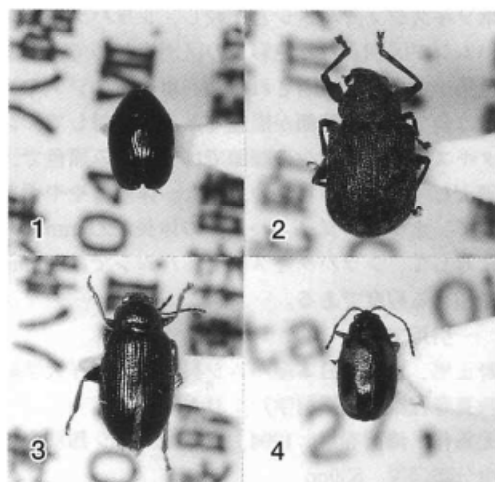
3. スズキミドリトビハムシ

Crepidodera sahalinensis KONSTATINOV

3exs., 倉敷市水江高梁川河畔, 18.VII.2004, 筆者採集, 保管(写真3).

河畔のヤナギ類を掏って得た。河畔のヤナギを掏

えば普通に採れるそうだが、本種は山地(2003)によると最近になって日本に分布すると判明した種であり、記録が少ないので追加記録として記録する。



4. シラハタクスジノミハムシ

Phyllotreta shirahatai MADAR

1 ex., 苫田郡上斎原村恩原湖, 27.V.1986, 青野孝昭採集, 倉敷市立自然史博物館保管(写真4).

倉敷市立自然史博物館の収蔵庫に未同定のまま何年も保管されていたものである。岡山県野生生物目録(岡山県編, 2003)に掲載されておらず、県内未記録と思われる。

ハムシを同定して下さり、報告をすすめて下さった岡山市の山地治氏と原稿の校閲をして下さり、倉敷市立自然史博物館所蔵の標本の利用を許された同館の奥島雄一博士に厚くお礼を申し上げる。

引用文献

- 青野孝昭, 2005. 岡山県内で採集された甲虫類の分布資料 [4]. すずむし, (140) : 63-69.
 岡山県編, 2003. 岡山県野生生物目録. 397pp. 岡山県.
 山地治, 2003. 岡山県から採集した甲虫類の記録, すずむし, (137) : 43-46.
 (〒710-0826 倉敷市老松町3-14-33クリーンピア106号室)

訂正 (すずむし第140号)

鈴木 茂

本誌第140号の「岡山県中和村山乗山でFITによって採集したオオキノコムシ科甲虫」の75ページ, 1行目, 9行目, 12行目において、藤谷美文氏の名字を「藤本」氏と誤記してしまいました。

藤谷氏並びに読者の皆さんに多大なご迷惑をおかけいたしました。訂正するとともにお詫び申し上げます。
 (〒703-8262 岡山市福泊250-5)

クロアナバチがアオマツムシを狩る

近藤 光宏

筆者は、運よくクロアナバチがアオマツムシの幼虫を狩って、造巣に運び入れるところを目撃した。

それは、2005年の夏のことである。倉敷市内の酒津公園を散歩中、アラカシの植え込みに、アナバチのものと思われる土粒積も真新しい造巣中の巣穴が目止まった。その時、たまたまクロアナバチが獲物を咥えて帰って来た。そして、巣穴の10cmほど手前に獲物を一旦置いたまま、クロアナバチは単身巣穴へ入って行った。獲物は緑色をしており、ツユムシなどバッタの仲間と思われたが、念のためにかがみ込んで見ると、なんとアオマツムシの幼虫ではないか。大きさから見て終令もしくは終令間近い幼虫と思われた。取り急ぎ手提袋からデジカメを取り出しかけたところ、クロアナバチが巣穴から出てきたかと思うと、その獲物を咥えて後ずさりに巣穴へ消えてしまった。あっという間の出来事であった。しまった、しばらくとどまって次の機会を待ってカメラに収めたかったが、同行人をこれ以上待たせるわけにもいかないので、後日に託して残念にも後ろ髪をひかれる思いでその場を後にした。

都市型の帰化昆虫とされているアオマツムシが岡山県下で初めて記録されたのは岡山市で、1992年9月18日のことである。以来年々アオマツムシは分布を拡大してきている。今では、街路樹や公園などはもとより丘陵地や山林内部にまで分布を広げ、県下のいたる所で鳴き声を確認することができるようになった。分布拡大の要因として考えられることは、アオマツムシが夜行性であること。また、樹上性で体が緑色をしているので葉の色に溶け込んで目立たないこと。などのことから、野鳥や捕食性の昆虫、クモなどの天敵から、守られているのではないかとと思われる。

この度の観察により、アオマツムシがクロアナバチの狩りの対象になっていることが明らかになった。今後アオマツムシの一方的な繁殖に対し、幾らかは抑制効果がでてくるのではないかとも思われる。近年、クロアナバチや近縁種であるキンモウアナバチの営巣が、公園や学校の校庭、幼稚園の砂場(参考文献1-3参照)などでも頻繁に目撃されるようになってきている。どうやら知らないのは私ども人間であって、クロアナバチはもっと早くからアオマツムシを狩りの対象として、市街地にまで分布を拡大してきているとも考えら

れる。できることなら機会をみて、今一度狩りの場面を確認したいと思っている。

<データ>

Gryllidae コオロギ科

Calypotrypes hibinonis (MATSUMURA) アオマツムシ

1ex. (幼虫), 岡山県倉敷市酒津 (酒津公園), 9, VII, 2005, 近藤光宏目撃.

Sphecidae アナバチ科

Sphex argentatus fumosus KOHL

クロアナバチ本土亜種

1ex., 岡山県倉敷市酒津 (酒津公園), 9, VII, 2005, 近藤光宏目撃.

参考文献

1. 近藤光宏, 1999. クロアナバチのツユムシ狩り. すずむし, (134): 33-34. 倉敷昆虫同好会, 倉敷市.
2. 近藤光宏, 2001. 大物ハンター, キンモウアナバチ. 倉敷の自然, (71): 1-2. 倉敷の自然をまもる会, 倉敷市.
3. 近藤光宏, 2005. キンモウアナバチが園庭の砂場に営巣. しぜんしくらしき, (53): 13-14. 倉敷市立自然史博物館友の会, 倉敷市.

(〒710-0046 倉敷市中央2-16-14)

シラハタキスジノミハムシの岡山県からの記録

青野孝昭

Phyllotreta shirahatai MADAR シラハタキスジノミハムシを岡山県内で採集していたので報告する。

1991年4月29日, 新見市草間羅生門において採集したキスジノミハムシ類の1ex.を再点検していたところ, 本種の特徴を備えていると判断された。

シラハタキスジノ

ミハムシについては1959年に *Phyllotreta chinensis* fa. *shirahatai* MADAR の学名で記載されている。しかし, *chinensis* HEIKERTINGER は HEIKERTINGER (1950) によってホソキスジノミハムシ *rectilineata* CHEN のシノニムとされているため, 本種はホソキスジノミハムシの四紋型とされていた。ところが, 木元・滝沢, 1994 は *shirahatai* MADAR は *recti-*



lineata CHEN とは雄交尾器の形状や肢の色彩などが相異なるので, 独立種とするのが適当であると述べている。

ホソキスジノミハムシと比較し, シラハタキスジノミハムシが区別される色彩上の区別点として, 上翅の黄色条が中央部で中断される他, ホソキスジノミハムシでは全ての肢の腿節が黒色であるのに対して, シラハタキスジノミハムシの腿節では後肢のみ黒色で, 強く肥大しているのが目立つ。また, 体形はややずんぐりして, ホソキスジノミハムシの体長が2.5mmであるのに対して, シラハタキスジノミハムシでは2.0mmをやや超える程度である。

引用文献

- 大野正男, 1971. 日本産ハムシ科名彙. 東洋大学紀要 教養課程編 (自然科学): 31-126.
- 木元新作・滝沢春雄, 1994. 日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説. 539pp.

(〒710-0817 倉敷市大内937-8)

高梁市からベニシタバを確認

中村具見

ベニシタバは山地性のカトカラで県内では北部中国山地において比較的普通に見られるが, 吉備高原地域以南では新見市草間 (渡辺, 2005) など中国山地よりの地域でわずかに得られているにすぎない。

筆者は, クロヒカゲモドキの撮影に訪れた高梁市西部の落葉広葉樹林中で, 少ないながら本種を確認することができたので下記の通り報告しておく。

2-3exs. 観察 (写真撮影), 高梁市高倉町飯部浅所, 2005. VII. 24.



なお, 同日同所で観察したカトカラについても併せて報告しておく。

シロシタバ 2 exs.

ジョナスキシタバ 5-6 exs.

オニベニシタバ 多数

マメキシタバ 多数

コシロシタバ 1 ex.

キンタバ 1 ex.

参考文献

渡辺和夫, 2005. 新見市草間・カルスト台地の蛾類, すずむし, (140) : 20.

(〒719-1134 総社市真壁1048)

ツマアカベッコウその後の記録

近藤光宏

ツマアカベッコウの岡山県における記録については、本誌No.135号において、分布上注目すべき種としてすでに報告しているが、その後、倉敷市向山や同市中央(筆者自宅)において、本種各1個体を採集し得たので、ここに報告する次第である。

実は、2002年9月19日にも筆者自宅において本種1個体を目撃しているが、採集するには至っていない。

なお、筆者の手元には、このほかにも幾つかの未発表の情報が寄せられており、初記録された1999年以降県内にも次第に分布を拡大しつつあるのではないかと思われる。

<データ>

Pompilidae ベッコウバチ科

Tachypompilus analis (FABRICIUS) ツマアカベッコウ

1ex., 岡山県倉敷市向山, alt.100m, 22.VII.2002, 近藤光宏採集.

1ex., 岡山県倉敷市中央2-16-14, 14.VIII.2005, 近藤光宏採集 (写真).



<筆者自宅での採集時の様子>

真夏の太陽が容赦なく照りつける家屋南面の出窓下付近をうろついている一匹のハチが目にとまった。近づいてみると腹端が赤く、まぎれもなくツマアカベッコウであることが判った。何とか捕獲したいと思い、網を取りにその場を離れたが、その間逃げることもなく、運よく採集することができた。本種はおそらく幼虫の餌となるクモを探していたものと思われる。

参考文献

近藤光宏, 2000. 倉敷で全国的にも稀なツマアカベッコウ

コウを記録, すずむし, (135) : 20-21.

(〒710-0046 倉敷市中央2-16-14)

岡山県におけるコルリクビボンハムシの追加記録 (黄脚型を含む)

末長晴輝

コルリクビボンハムシ *Lema michioi* K. SUZUKI は、スゲクビボンハムシに近縁な2005年に記載されたばかりの種である(Suzuki, 2005)。放棄水田やため池、湿地などに比較的普通に見られ、成虫はツユクサ科のイボクサに集まり、活発に飛び回る。スゲクビボンハムシとは、前胸背板の形状や腹部腹面のほぼ全域が密生した毛で覆われていることなどによって明瞭に区別できる。また、すべての脚の腿節がほぼ黒色で脛節や付節の基半分が暗黄褐色を呈することも特徴のひとつであるが、しばしば転節および脛節基部を除いて、ほぼ全体が黄褐色や赤褐色となる黄脚型 *f. hiranoi* も出現する。黄脚型はこれまでに富山県、愛知県、兵庫県で確認されているが、筆者はこの度、岡山県でも確認したので他の個体と併せて記録する。

6exs. (うち2exs. 黄脚型), 岡山市撫川 R S K 公園, 26.V.2005, 筆者採集, 保管(写真).

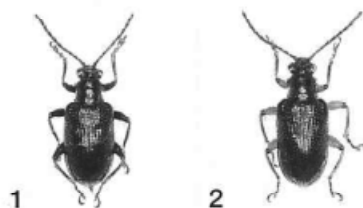


写真1. コルリクビボンハムシ基本型.

写真2. コルリクビボンハムシ黄脚型.

ハスが植えてある池の周辺に生えていたイボクサから得られた。比較的普通に見られる種であるので、放棄水田やため池などのイボクサを探せば今後かなり追加は得られると思われる。

最後に、本種の記録を勧めていただいた富山大学の鈴木邦雄博士に厚くお礼申し上げる。


引用文献

Suzuki, K., 2005. Description of a new species of the genus *Lema* (Coleoptera, Chrysomelidae, Criocerinae) from Honshu, Japan. *Elytra*, Tokyo, 33 : 86-94.

(〒710-0826 倉敷市老松町3-14-33クリーンピア106号室)


目 次

岡山県沿岸部における半翅目 (Hemiptera) ~瀬戸内市 邑久町虫明宇藤の事例~ ……野崎達也・野崎陽子 1	岡山県におけるヒサゴクサキリの追加記録 ……………末長晴輝 26
岡山県で採集したテントウムシダマシ科甲虫 ……………鈴木 茂 15	シラホシアシブトクチバの記録 ……渡辺和夫 27
トラサンドクガの記録と生態 ……渡辺和夫 18	スジミズアトキリゴミムシの記録について ……………近藤光宏 27
岡山県から採集した甲虫類の記録 ……山地 治 19	吉備中央町加茂川でメスアカミドリ採卵 ……………難波圭吾 27
二上山と大平山の甲虫若干の採集記録…青野孝昭 21	岡山市内でメスアカミドリ卵採れる ……難波圭吾 28
岡山県から採集されたチビシテムシの記録 ……………藤谷美文 25	訂正 (すずむし第138号) ……鈴木 茂 28
ーおとしぶみー	岡山市のメスアカミドリシジミ, 追加記録 ……………中村具見 28
メスアカミドリシジミの異常型について ……………中村具見 14	岡山県産ハムシの記録 ……末長晴輝 28
アオバアシナガハムシの越冬場所と分布地 ……………青野孝昭 14	訂正 (すずむし第140号) ……鈴木 茂 29
岡山県南部におけるイチモンジハムシの記録 ……………木下義久 17	クロアナバチがアオマツムシを狩る ……近藤光宏 29
ハネナシサシガメの記録 ……山地 治 20	シラハタキスジノミハムシの岡山県からの記録 ……………青野孝昭 30
矢掛町のメスアカミドリシジミ卵について ……………難波圭吾 20	高梁市からベニシタバを記録 ……中村具見 30
岡山県のアリヅカコオロギ類の記録と訂正 ……………末長晴輝 26	ツマアカベッコウその後の記録 ……近藤光宏 31
	岡山県におけるコルリクビボソハムシの 追加記録 (黄脚型を含む) ……末長晴輝 31



(医療法人創和会理念)
生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

shigei.or.jp



<p>しげい病院 〒710-0051 倉敷市幸町2-30 TEL086(422)3655 FAX086(421)1991</p>	<p>(財)日本医療福祉研究機構 一般病院 (B) 認定 重井医学研究所附属病院 〒701-0202 岡山市山田2117 TEL086(282)5311 FAX086(282)5345</p>	<p>重井医学研究所 〒701-0202 岡山市山田2117 TEL086(282)3113 FAX086(282)3115</p>	<p>重井薬用植物園 〒701-0007 倉敷市境原20 TEL086(423)2396</p>
<p>岡山しげい訪問看護ステーション 岡山しげい在宅介護支援事業所 〒701-0202 岡山市山田2117 重井医学研究所1F TEL086(282)4300 FAX086(282)3115</p>	<p>倉敷しげい訪問看護ステーション 倉敷しげい在宅介護支援事業所 しげい在宅介護ステーション 〒710-0001 倉敷市幸町2-30 しげい病院新南館1F TEL086(422)8111 FAX086(421)1991</p>	<p>倉敷昆虫館 〒710-0051 倉敷市幸町2-30 しげい病院8F TEL086(422)8207</p>	

編集後記 何とか予定どおりに第141号をお届けできそうです。今号も30ページを超えるページを確保できました。皆様のご協力に感謝します。今後とも積極的なご投稿をよろしくお願ひします。それにしても、そろそろ報文も合併後の市町村名で報告されることが多くなりましたが、なかなか馴染めない方も多いのではないかと思います。編集方針も固めなければならないのですが、さて、どうしたものでしょう? (KW)

す ず む し 141号

2006年3月31日発行

発行者 倉敷昆虫同好会 (〒710-0051 倉敷市幸町 しげい病院8階 倉敷昆虫館内)
Tel. 086(422)8207(直通) FAX. 086(421)1991
振替口座 01210-2-6927
印刷所 サンコー印刷(株) (総社市真壁871-2)